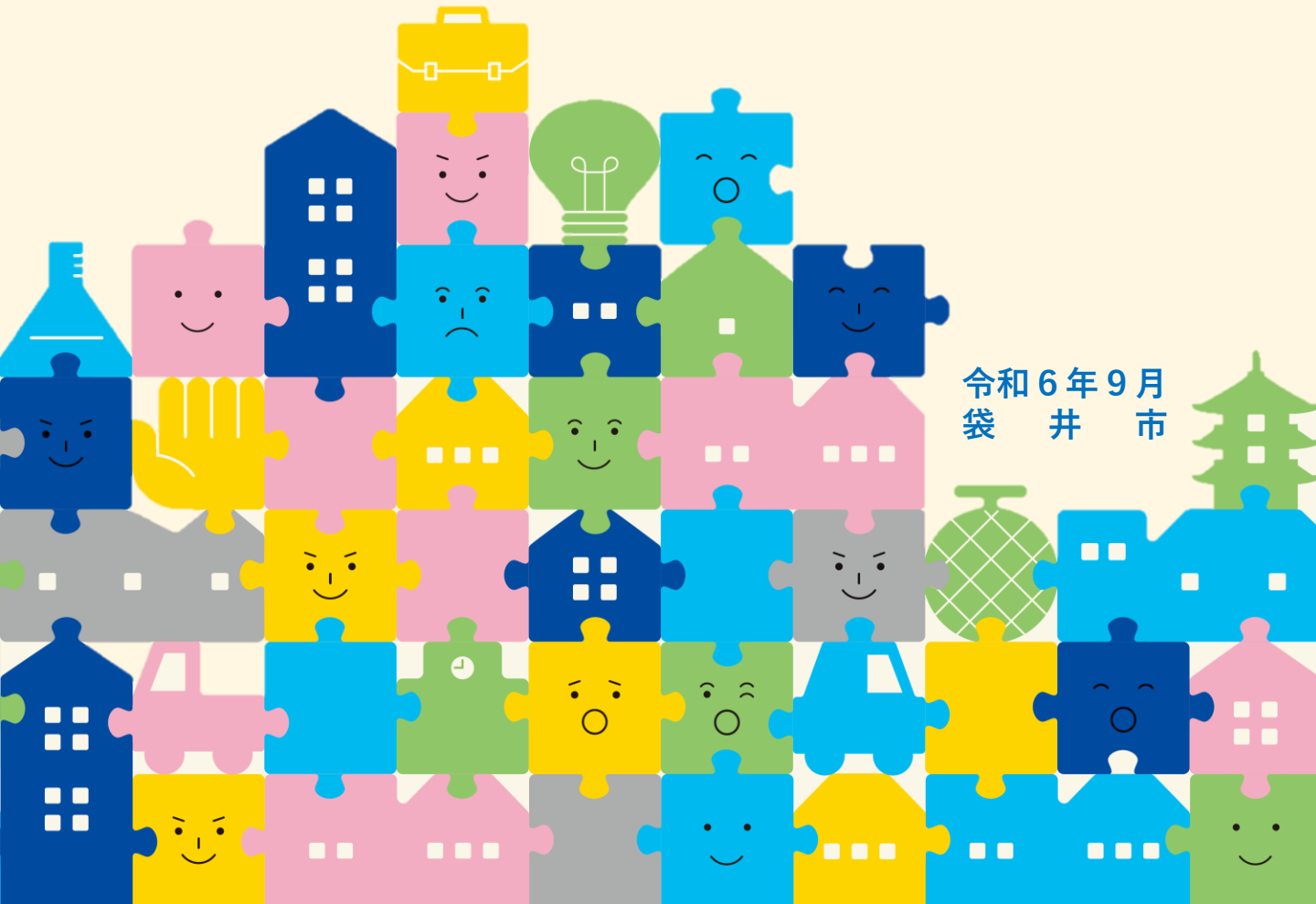


第2期輝く“ふくろい”
まち・ひと・しごと創生総合戦略

やらまいか REPORT2024

～令和5年度進捗状況報告書～



令和6年9月
袋井市

第1章	全体のまとめ	3
第2章	人口動態	4
第3章	総合戦略〔3つの挑戦／政策パッケージ〕	6
挑戦1	「ふくろい人」ひとづくりへの挑戦	8
挑戦2	「しっかり稼ぐ」しごとづくりへの挑戦	14
挑戦3	「支え合い」誰もが活躍するまちづくりへの挑戦	20
第4章	戦略を支える取組	26
第5章	地方創生交付金の活用状況など	28

1 人口動態の概要

- (1) **本市人口は88,047人**（R 6 .4.1現在）となり、前年比で231人の減少となったが、人口ビジョンで設定した目標を上回る水準を維持している。
- 自然増減については、婚姻・出産控えの傾向が続く中、**出生数は前年度と同水準の年間600人台と回復の兆しが表れない一方、死亡数が900人台後半と年々増加傾向にあり、自然減（▲299人）**となっている。
- 社会増減については、**外国人の転入傾向は継続しており、328人の増**となっているものの、転入者の総数は前年比で半減したことから、社会増は166人と微増となっている。
- (2) 子育て世帯の転出入は、**若干数ではあるが、近隣市町への転出超過**となった。
- (3) 合計特殊出生率は微増したものの全体としては減少傾向にある。人口減少率は県内23市で最も低い。

2 総合戦略（政策パッケージ）の概要

総合戦略では、本市の人口ビジョンに掲げる将来目標人口の実現や総合計画の早期実現に資する取組を加速させるほか、人口減少を抑制していくための「抑制戦略」と人口が減少する社会においても市民が快適に暮らし続けられるための「適応戦略」を“3つの挑戦（政策パッケージ）”として掲げ取り組んでいる。

挑戦1 「ふくろい人」人づくりへの挑戦

- 市内全ての小中学校において、AI学習アプリの活用を推進したほか、実証校においては、**複数のAI学習アプリを導入し、基礎学力の定着を目指す個別最適な学びの推進につながる効果を検証する実証事業**を通じて、児童生徒の学びに向かう力の育成に向け推進を図った。
- 市内県立高校と特別支援学校との連携協定に基づき、**生徒自らが設定した課題について、地域で活躍する大人との交流などを通じた調査・探究により、解決策を考える取組**を支援した。
- アスリートを「食」でサポートする「袋井スポーツ飯」の取組をはじめ、世界で活躍する**アスリートとの交流機会の創出**などにより**挑戦するアスリートを支える取組**を実施した。

評価



もうひと踏ん張り

(3.2点)

挑戦2 「しっかり稼ぐ」しごとづくりへの挑戦

- 社会課題の解決や市民サービスの向上を目指し**、浜松市と湖西市との連携のもと、スタートアップ企業等への支援を実施した。
- 全国的に需要が拡大している「ほうじ茶」に着目し、**袋井産茶葉100%使用のほうじ茶ペットボトル飲料を商品化したほか、市場の開拓に向けた交流機会の創出**を図った。
- 海プロフェスタやエキマチフェスタ、花マルシェなど、海や公園、広場、河川をはじめとする**公共空間を利活用し、官民が連携した賑わい創出**を図った。

評価



いい調子です

(3.7点)

挑戦3 「支え合い」誰もが活躍するまちづくりへの挑戦

- 人口減少と高齢化の進展による公助縮小下においても持続的な発展が可能な地域経営のあり方の実現を目指し、これまでの実証成果をもとに、**より実践的な官民の互恵的な共創関係の構築に向け、社会連携推進係を起点とした庁内外の連携の仕組みづくり**に取り組んだ。
- 損保会社と自治会の交通安全会が連携し、**危険なシチュエーションを疑似体験できるシミュレーターを用いた交通安全教室**を実施した。
- 米国ヒルズボロ市との姉妹都市提携35周年を記念したアメリカ音楽のイベント**などを通じて、**相互理解と親善交流**を図るとともに、**共生社会の推進**に向けた取組を充実させた。

評価



もうひと踏ん張り

(3.2点)

3 創生会議の意見

よくできました
(5～4.5点)



いい調子です
(4.4～3.5点)



もうひと踏ん張り
(3.4～2.5点)



もっとがんばろう
(2.4～0点)



- 経済縮小など、**人口の減少に伴う社会への影響に対する危機感や認識は、まだまだ浸透していない**。人口に占める外国人比率が高まり、異文化への理解や言語の壁があるが、上手く融合して人口減少に対応していく必要がある。
- 外国人の活用や省人化投資（ロボット・デジタル化等）などに積極的に取り組む企業ある一方、対応できない企業**がいるなど、**地域内企業の対応も二極化している**。県西部は製造業が盛んであり、製造系DXを行うスタートアップとのマッチング等の支援が求められる。スタートアップの大半は首都圏に集中しているものの、他方で地方拠点のニーズもある。**地方拠点として選ばれる活動の場の提供や補助制度など、スタートアップを呼び込む仕組みが求められる**。
- 県西部は、首都圏から見た時に、立地面では魅力的に見えるが、労働力の質・量ともに不足している印象がある。**地の利を活かした二地域居住などの促進により、人材不足感が解消されれば、企業にとって魅力的な地域になる**。
- ここ数年、**近隣市と比較しても好調だった住宅の市内新築着工件数が低調**となっている。近隣市町からの流入促進策として、税の優遇や住宅ローンの利子補給等も考えられるが、首都圏からの企業誘致や人口流入を目指す意味では、**静岡全体の魅力を伝えるためのPR強化や広域的な連携の強化が必要**である。
- 茶価低迷により、近隣市町ではレモンや栗への転作が進んでいるが、**市内では「いちご」の生産が伸びている状況**。新規就農者も毎年出ており、市場性がある付加価値の高い産品づくりを支援していく必要がある。
- ゼロカーボン等環境に配慮する企業に対する価値がこれまで以上に高まることが予想されるが、**中小・零細企業を中心に環境に対する意識や対応の遅れが今後のビジネスに大きな影響を与えないか懸念**している。

1 現状と課題

(1) **本市人口は88,047人**（R 6.4.1現在）となり、前年比で231人の減少となったが、人口ビジョンで設定した目標を上回る水準を維持している。

自然増減については、婚姻・出産控えの傾向が続く中、**出生数は前年度と同水準の年間600人台と回復の兆しが表れない一方、死亡数が900人台後半と年々増加傾向にあり、自然減（▲299人）**となっている。

社会増減については、**外国人の転入傾向は継続しており、328人の増**となっているものの、転入者の総数は前年比で半減したことから、社会増は166人と微増となっている。

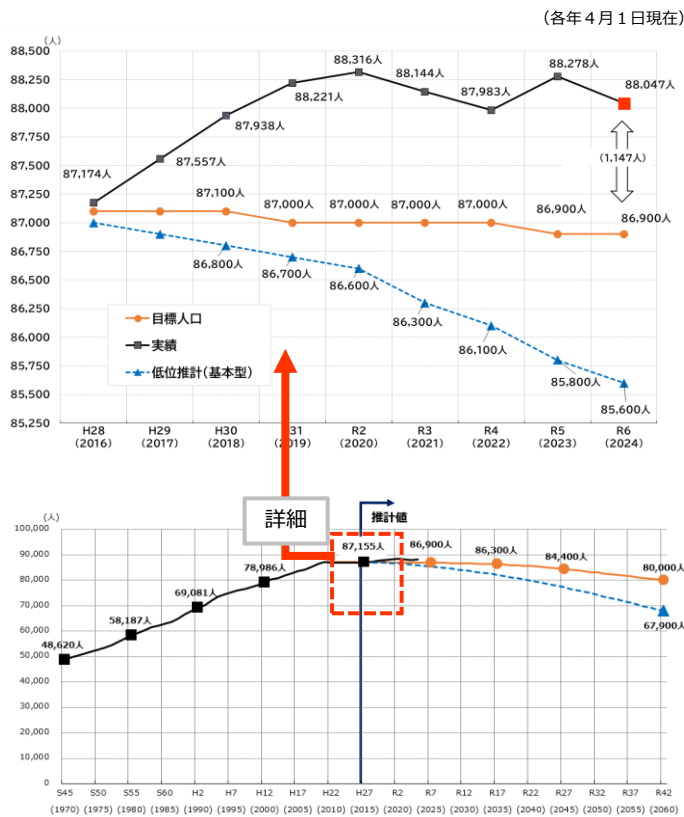
(2) 子育て世帯の転出入は、**若干数ではあるが、近隣市町への転出超過**となった。

(3) 合計特殊出生率は微増したものの全体としては減少傾向にある。人口減少率は県内23市で最も低い。

2 人口推計

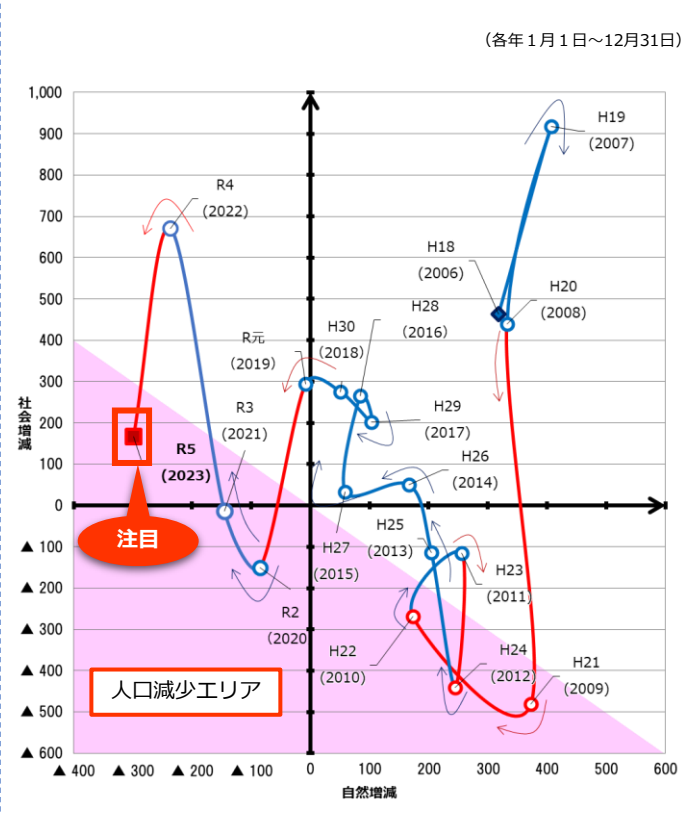
(1) 人口推移

外国人市民の転入（+328人）が、前年比の半数に留まったこと等が要因となり人口が減少（前年比▲231人）



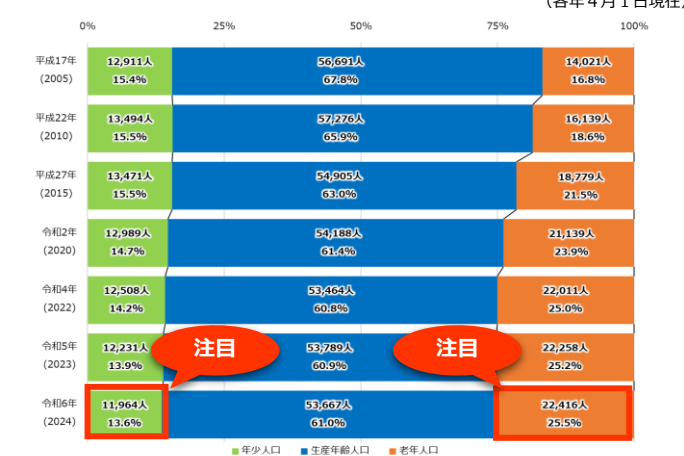
(3) 自然増減と社会増減

自然増減の減少数（▲299人）に対し、社会増減の増加数（+166人）を下回ったため総人口は減少



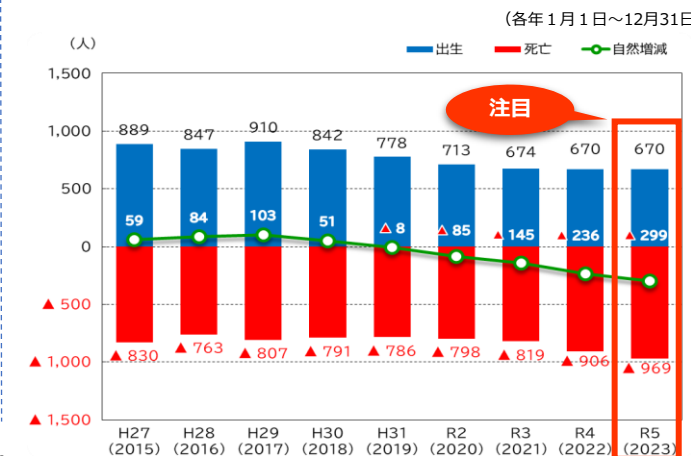
(2) 3区分別人口の推移

少子高齢化が着実に進行している
（前年比年少人口▲0.3ㇿ、老年人口+0.3ㇿ）



(4) 自然増減の推移

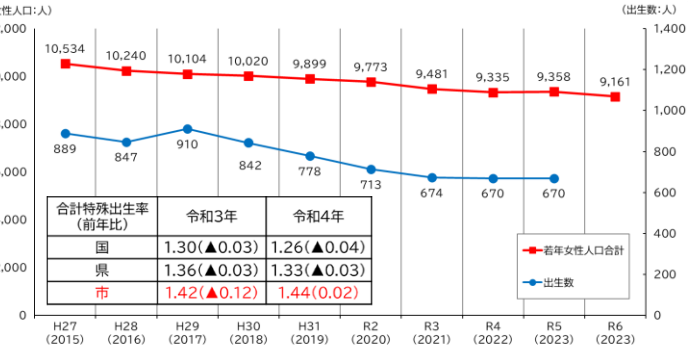
出生数は前年と同水準の670人（前年比±0人）で横ばいである一方、死亡者数（+63人）は増加傾向



3 出生に関する状況

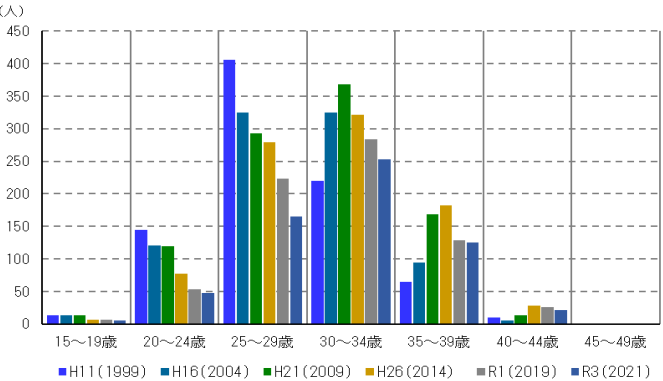
(1) 若年女性人口と出生数の推移

若年女性人口は、R5年度に増加に転じたもののR6年度は減少し、減少傾向が続く。(前年比▲197人)



(2) 母親の5歳階級別出生数の推移

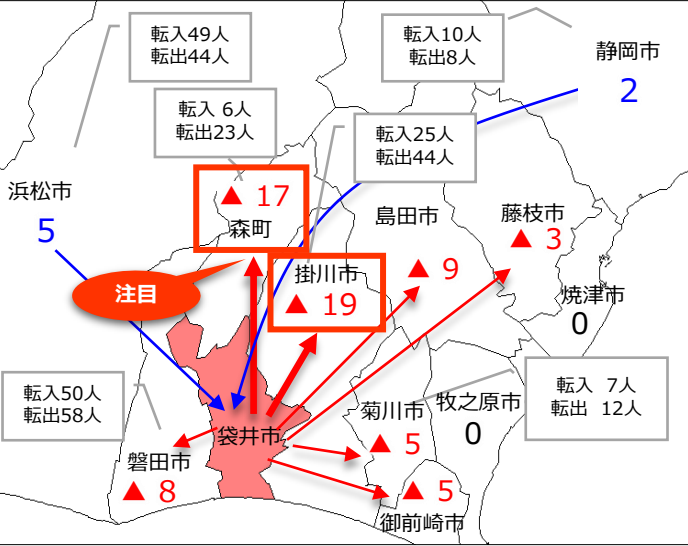
20歳代の出産は平成11年度の半数以下まで減少。30～34歳代の出産は依然最多で、晩産傾向が続く。



4 子育て世代の動向

(1) 子育て世帯(0～9歳)の転出入状況

令和5年は子育て世帯の近隣市町への転出超過となった
(令和5年1月1日～12月31日)



(2) 5歳階級別増減人数

30代後半の子育て世帯の転出超過傾向があるものの、20代を中心に転入超過傾向が続いている。

		(各年4月1日現在)		
		R1	R6	増減
年少	0～4歳	4,153	3,321	-
	5～9歳	4,494	4,098	▲55
	10～14歳	4,514	4,545	51
	15～19歳	4,374	4,517	3
	20～24歳	4,368	4,410	36
生産年齢	25～29歳	4,849	4,572	204
	30～34歳	5,748	4,979	130
	35～39歳	6,187	5,722	▲26
	40～44歳	6,509	6,191	4
	45～49歳	6,559	6,513	4
	50～54歳	5,286	6,609	50
	55～59歳	4,945	5,267	▲19
	60～64歳	5,440	4,887	▲58

5 他市町との比較

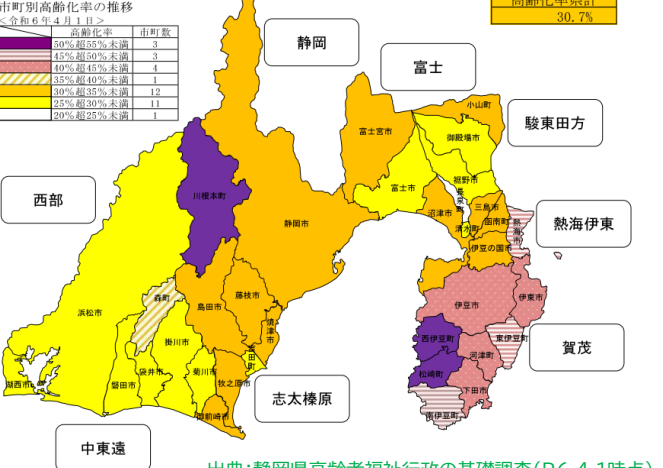
(1) R6県人口推計とR2国勢調査の比較

全市町で人口が減少 ※県内23市で最も減少率が低い

減少数 (人)		減少率 (%)	
1	静岡市 ▲19,955	1	川根本町 ▲13.6
2	浜松市 ▲14,405	2	西伊豆町 ▲12.1
3	沼津市 ▲7,225	3	松崎町 ▲11.3
4	富士市 ▲5,337	4	河津町 ▲9.7
5	御殿場市 ▲4,336	5	南伊豆町 ▲9.4
...	...	...	...
10	磐田市 ▲3,255	29	磐田市 ▲1.9
...	...	30	掛川市 ▲1.9
15	掛川市 ▲2,182	31	浜松市 ▲2.0
...	...	...	...
34	袋井市 ▲250	35	袋井市 ▲0.3

(2) 県内高齢化率調査

県の高齢化率は過去最高の30.7%
※袋井市=25.5% (県内23市で一番「若いまち」)



（3つの挑戦）	（戦略の柱と施策の方向性）
（挑戦1） 「ふくろい人」 ひとづくりへの挑戦 次代の袋井を支えるために学び、挑戦する人材を地域ぐるみで育て、呼び込む環境づくりに挑む	1－1 新しい時代を生き抜く人づくり 技術革新や国際化が進展する時代に自ら考え、学び、行動する力を持った人材を育てるため、「確かな学力」を身につけるとともに「袋井で暮らす豊かさ」への理解と愛着を深める教育を地域ぐるみで取り組む。
	1－2 産業や社会を支える人づくり 技術革新や働き方改革の進展により産業、社会の在り方が変化していく中で活躍できる人材を育てていくため、地域、産業界と高校・大学等が人材ニーズ等を共有・連携し、次代を担う人づくりに取り組む。
	1－3 挑戦する人を応援する土壌づくり 高齢化、人口減少進展等により地域・社会の課題も山積する中、誰もが生涯を通じて学び、事業・産業や教養・文化などの活動のほか、暮らしを通じた多様な挑戦をすることで、これからも豊かさを共創し、実感し合えるまちづくりに向けたチャレンジを応援する環境を整える。
（挑戦2） 「しっかり稼ぐ」 しごとづくりへの挑戦 新技術や地域資源の活用により生産性の向上と生活の豊かさを両立する「ふくろい」ならではの暮らしの実現に挑む	2－1 新たな産業と地域社会づくり Society5.0やSDGsなど、社会や産業の変化を好機として、地域の課題解決と持続的な産業発展を実現するため、地域内外の産学官連携等により、既存の事業活動等の効率化を図るとともに、新規・成長分野の開拓や新たな地域社会システムの革新に向けたチャレンジを進める。
	2－2 稼げる農業づくり 本市が強みを持つ産業分野である農業の一層の発展を実現するため、これまでの蓄積を基盤としつつ、新しい技術の積極的な活用や異業種との連携強化による生産性向上と付加価値の創出や国内外の販路開拓、ブランド力向上に取り組む。
	2－3 「ふくろい」ならではの暮らしづくり 市民が誇りと愛着を持つ生活文化、地域資源を再確認・発掘し、世界や全国を視野に本市の魅力を伝えるものに磨き上げ、市民の定着や関係人口の増加につなげていくため、商品・プログラム開発などの魅力づくりに取り組むとともに、体験・交流機会の提供や環境整備、情報交流を推進する。
（挑戦3） 「支え合い」 誰もが活躍する まちづくりへの挑戦 人生100年時代に全ての世代、外国人市民、誰もが元気に役割をもって活躍できる社会・地域の仕組みづくりに挑む	3－1 人生100年時代「全世代が活躍するまちづくり」 世代を問わず生涯を通じて全ての人が意向、能力、健康状態に応じて活躍できるまちをつくるため、就労・活躍機会の拡大、健康維持・増進、環境の整備等に取り組む。
	3－2 支え合う多様な仲間づくり 高齢化の進展下、介護、子育て、防災などで互いに支え合えるまちをつくるため、コミュニティセンター等を拠点として日頃から安心できる仲間づくり、互助の仕組みづくりを進める。
	3－3 多様性を強みとするまちづくり 外国人市民や障がい者、女性の活躍が期待される中、高齢者、学生あるいは地域外に住む関係人口など多様な価値観を尊重し、多様性を本市の魅力や発展への活力としていくため、多文化共生、男女共同参画等の取組や環境整備を進める。

(主な取組)

(SDGs)

- 「確かな学力」向上プロジェクト（GIGAスクール構想、幼小中一貫教育ほか）
- 地域とともにある学校づくりプロジェクト
（コミュニティ・スクール推進事業、地域住民による放課後学習支援ほか）



- 高校魅力化プロジェクト(探究的な学び、職業教育の高度化ほか)
- 地域人材育成に向けた「知の拠点」活用プロジェクト
（新たな学科開設支援、デジタル人材等の育成ほか）



- ふくろい「やらまいか」プロジェクト
（アイデア創出支援、リカレント教育、創業・事業承継ほか）
- 文化芸術・スポーツ応援プロジェクト
（大会誘致、大会出場奨励制度、総合型地域スポーツクラブとの連携ほか）



- 地域の「稼ぐチカラ」向上プロジェクト
（産業イノベーションセンター設置、個店の魅力発信ほか）
- 近未来技術等の社会実装プロジェクト
（エコパドリームプロジェクト、スマート自治体、スマートライフ推進ほか）



- 農業の未来を創るプロジェクト
（スマート農業の推進、担い手育成、地産地消の推進ほか）
- 世界で戦える農産品と新たなビジネスモデル創出プロジェクト
（販路開拓支援、付加価値向上支援、多様な販売モデルの推進ほか）



- 観光ビジネス創出プロジェクト
（新たな商品（観光ツアー、特産品）開発、スポーツイベントの開催支援ほか）
- ふくろいファンづくりプロジェクト
（SNSを活かした情報発信、ふるさと納税促進ほか）



- 生涯活躍のまちづくりプロジェクト
（人生100年時代の地域経営のあり方（仮称）の研究、健康経営の推進、高齢者の多様なニーズに応じた就労機会確保ほか）



- 支え合い・つながり創出プロジェクト
（まちづくり協議会の活動支援、NPOや市民活動団体の活動・連携支援、ICTを活用したコミュニティ形成の支援ほか）



- 「共創社会」加速化プロジェクト
（外国人市民への支援、男女共同参画社会の推進、子育てと仕事の両立支援障がい者への理解と地域の交流の支援ほか）



1-1 新しい時代を生き抜く人づくり

技術革新や国際化が進展する時代に自ら考え、学び、行動する力を持った人材を育てるため、「確かな学力」を身につけるとともに「袋井で暮らす豊かさ」への理解と愛着を深める教育を地域ぐるみで取り組む。

(1) 「確かな学力」向上プロジェクト

授業と家庭学習の連動を図るため、市内全ての小中学校において、AI学習アプリの活用を推進したほか、実証校においては、複数のAI学習アプリを導入し、基礎学力の定着を目指す個別最適な学びの推進につながる効果を検証する実証事業を行うなど、児童生徒の学びに向かう力の育成に向け推進を図った。

今後の課題は、**ICTをより効果的に活用した学びの更なる充実**であり、複数のAI学習アプリによる実証の効果検証を踏まえ、個別最適な学びと協働的な学びへつなげるとともに、引き続き、ICTを活用した学習を継続することにより、児童生徒の自ら学び、考え、行動する力の向上に取り組んでいく。

主な取組

・未来の教育実証研究〔教育企画課〕

AI学習アプリを活用した新しい学習モデルの実証研究を実施

・一人ひとりに合った学習問題が出題される学習アプリ「navima」を活用した家庭学習

【対象】小学校9校、中学校3校 計12校

・子どもたちに適したAI学習アプリを検討すべく、複数のAI学習アプリを導入し検証

(中学校:「Qubena」小学校:「ドリルパーク」を導入)

【対象】小学校9校、中学校3校 計12校

・小中学校英語力向上〔学校教育課〕

イングリッシュ・デイキャンプ: 小3・4年生コース (2h/回、開催日7/26・27・8/6、参加者73人)

小5・6年生コース (2.5h/回、開催日7/26・27・8/2、参加者57人)

中学生コース (1h/回、開催日7/28、参加者23人)

チャレンジコース (1h/回、開催日8/3、参加者34人)

英検チャレンジ : 開催日9/30・1/13、市内4会場

受検者683人 (小学生131人、中学生552人)

合格者494人 (小学生96人、中学生398人)

外国人指導助手派遣 : 市内小中学校にALTを配置

・スマートスクール推進〔教育企画課〕

小中学校にICT支援員を配置し、ICTを活用した授業支援や校務支援、デジタル教材等の作成支援を実施

小学校 年間760回訪問、中学校 年間160回訪問



イングリッシュ・デイキャンプ



学習支援アプリを活用した学習

(2) 地域とともにある学校づくりプロジェクト

市内小学校でのアースキッズ事業や出前ECO教室の開催など、環境教育の充実に加え、市内店舗の協力で実施する小学校お仕事体験などの実施により、地域が学校との関わりを持てる機会の創出を図った。

今後の課題は、**学校と地域の更なる連携強化や地域住民のやりがいづくり**であり、学校と地域の連携を強化するために、地域学校協働活動推進員及び本部の運営体制の強化などに努めるほか、地域住民のやりがいを創出するために、市内店舗の協力を仰ぎ、小学生を対象としたお仕事体験など、地域住民が学校や児童・生徒と直接関わりの持てる機会を創出していく。

主な取組

・環境教育の推進〔環境政策課〕

アースキッズ事業 : 市内小学校7校、小学4・5年生534人

出前ECO教室 : 市内小・中学校 (実施14回、参加者1,371人)

市民団体 (実施29回、参加者1,166人)

エコパを活用した環境教育: 小学校 (12校、参加者755人)

・ブックスタート、セカンドブック、サードブック〔生涯学習課〕

ブックスタート: 7か月児相談時、保護者に読み聞かせの楽しさを体感してもらえるよう読み聞かせを行い、絵本を配付 (実施24回、配付者614人)

セカンドブック: 2歳児フツ素塗布時、保護者に子ども読書の重要性を伝え、絵本の紹介や読み聞かせを行い、絵本を配付 (実施24回、配付者618人)

サードブック : 入学説明会時、保護者に子ども読書の重要性を説明

新小学校1年生に本1冊とおすすめ図書リストを配付

・小学生お仕事体験〔産業未来課〕

市内の小学4～6年生34人に対し、子どもたちの職業観や就労意欲を高めるため2日間で開催

・青少年リーダー養成〔生涯学習課〕

青少年指導者養成事業「次世代リーダー育成塾」: 全3回 (12/17、1/14、2/17)

参加者38人 (高校生)



アースキッズ



サードブック

業績指標の評価

指標名	単位	基準値 (基準年)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	達成度
全国規模の学力調査で全国平均を上回る科目の割合 (小6:国語・算数、中3:国語・数学) [↑] 【出典:学校教育課】	%	目標値 50.0 (R1)	50.0 中止	75.0 0	75.0 0	100.0 25.0	100.0	100.0	
英語検定3級相当以上の資格を有する生徒の割合 (中3) [↑] 【出典:学校教育課】	%	目標値 18.5 (R1)	23.0 25.3	27.0 23.9	31.0 23.6	35.0 22.3	40.0	40.0	
「授業がよく分かる」と答える児童・生徒の割合 (小5～中3) [↑] 【出典:学校教育課】	%	目標値 85.0 (R1)	87.0 87.6	89.0 86.0	91.0 90.0	93.0 88.0	93.0	93.0	
「将来の夢や目標を持っている」と答える児童・生徒の割合 (小6・中3) [↑] 【出典:総合計画、学校教育課】	%	目標値 78.4 (R1)	90.0 78.3	80.0 74.1	81.0 76.3	82.0 76.6	83.0	83.0	
「地域の行事に参加している」と答える児童・生徒の割合 (小6・中3) [↑] 【出典:学校教育課】	%	目標値 86.0 (R1)	88.0 72.7	90.0 76.6	92.0 74.4	94.0 72.8	95.0	95.0	
家庭教育学級・少年学級・地域青少年育成団体の参加者数 [↑] 【出典:生涯学習課】	人	目標値 900 (R2推計)	900 842	900 960	950 1,006	950 885	1,000	1,000	
親スキルアップ講座の参加者の満足度 [↑] 【出典:総合計画、子ども未来課】	%	目標値 90.0 (R1)	91.5 99.1	93.0 99.1	94.5 99.8	96.0 98.7	97.0	98.0	
歴史資料館（郷土資料館・歴史文化館・近藤記念館）の利用者数 [↑] 【出典:総合計画、生涯学習課】	人	目標値 17,000 (R1推計)	17,800 20,315	17,400 17,827	17,600 18,584	17,800 19,044	18,000	18,200	

評価基準	評価	評価基準		
		達成度※1		総合評価※2
	よくできました	目標値以上	5点	5 ～ 4.5点
	いい調子です	目標値未満～70以上	4点	4.4 ～ 3.5点
	もうひと踏ん張り	70未満～基準値	3点	3.4 ～ 2.5点
	もっとがんばろう	基準値未満	1点	2.4 ～ 0点

※1 達成度は、目標値を100とした場合の達成度合いで評価
※2 総合評価は、業績指標の平均点で評価

総合評価



2.6点

TOPICS

給食を生きた教材に！ 食や環境を考える「グリーン給食」を実施

次世代の栄養素として注目される藻を活用した「グリーン給食」を、イービス藻類産業研究所と連携し、市内のこども園や幼稚園・小中学校で提供しました。

藻以外にもチンゲン菜や小松菜など地元の緑色の食材を使用し、給食を通じて生徒が食や環境について考える機会をつくりました。



2023.6.13 @ 袋井南小学校

1-2 産業や社会を支える人づくり

技術革新や働き方改革の進展により産業、社会の在り方が変化していく中で活躍できる人材を育てていくため、地域、産業界と高校・大学等が人材ニーズ等を共有・連携し、次代を担う人づくりに取り組む。

(1) 高校魅力化プロジェクト

市内県立高校と特別支援学校との連携協定に基づき、袋井高校とは、「総合的な探究の時間」を通じて、生徒自らが設定した課題について、地域で活躍する大人との交流などを通じた調査・探究により、解決策を考える取組を支援した。特別支援学校とは、市内商業施設と連携し、生徒が作製した製品を店頭内で販売・展示したほか、清掃などの職業体験についても支援した。

今後の課題は、**地域や社会が求める人材を育成する魅力ある学校づくり**であり、地域ぐるみでの支援体制の充実・強化に向け、多様な主体との連携強化に取り組んでいく。

主な取組

・袋井高校、袋井商業、特別支援学校との連携事業 [企画政策課]

- 袋井高校 : 総合的な探究の時間 (自ら地域のことを調べ、課題と解決策を探る取組)
 ・1年生 社会人講話 (開催日 5/11、講師: 企画政策課ほか社会人 3人)
 ・1、2年生成果発表会 (開催日 2/8、出席: 企画政策課、デジタル政策課、産業未来課、市内民間事業者ほか)

袋井商業 : 写真部の生徒による市職員採用広報に関する写真撮影会を実施
 開催日: 3/16、3/22

特別支援学校: 無印良品ノブレスパーク袋井店との連携事業
 【開催期間】1/16、19、23
 【実施内容】学校紹介パネルや作業製品の展示・販売、清掃活動

・青少年リーダー養成 [生涯学習課]

青少年指導者養成事業「次世代リーダー育成塾」: 全3回 (12/17、1/14、2/17)
 参加者38人 (高校生)



無印×特別支援学校の取組



袋井高校総合的な探究の時間

(2) 地域人材育成に向けた「知の拠点」活用プロジェクト

就職フェアでは、地元への就職を希望する学生の就職支援や企業の人材確保などの支援に取り組んだ。また、産業や地域を担う人材の育成に向け、静岡理工科大学や静岡文化芸術大学と連携し、各種講座やワークショップなどを開催したほか、海のにぎわい創出プロジェクトにおける「展望段床スペース」の設置に関するデザインの監修などでの連携を図った。

今後の課題は、**市民、企業、大学、行政の実践的な取組における更なる連携強化**であり、地域学講座や海のにぎわい創出プロジェクトなどの取組を活用しながら、市、大学、地元企業等との連携強化と新たな交流機会の創出を図ることで、産業や地域を担う人材育成に取り組んでいく。

主な取組

・静岡理工科大学との連携事業 [企画政策課、生涯学習課、産業未来課]

地域学講座 : 「袋井の海といきる～持続可能な環境づくり～」をテーマに開催し、海のにぎわい創出ビジョンを基に、「環境・防災・にぎわい」の3つの視点で課題を設定・検討し、フィールドワークやグループワークを通じて、袋井の海に関して現状を知り、地域課題解決や地域資源の活用に向けた調査・提案などの取組を行った。

開催日8/7、8/8、8/16、8/17 参加者25人 (大学生20人、市職員5人)

学術交流振興基金活用事業: 市民体験入学や公開講座、小学生を対象とした実験講座「お理工塾」、中学生プログラミング教室、もじ・モジ・じっけんワークショップほか
 学生フォーミュラ大会: 開催日8/28～9/2 延べ来場者数14,686人

・静岡文化芸術大学連携事業 [企画政策課]

海のにぎわい創出プロジェクト: 展望段床スペースの設置に係るデザインの監修・アドバイザー

・高校生と企業を結ぶ合同企業説明会 [産業未来課]

開催日3/19、参加企業65社、参加者219人 (R7.3 卒業予定の高校生)

・いわた・ふくろい就職フェア [産業未来課]

開催日2/22、参加企業50社、参加者63人 (R6.3以降卒業予定の大学、短大、専門学校生等)



地域学講座



もじ・モジ・じっけんワークショップ

業績指標の評価

指標名	単位	基準値 (基準年)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	達成度
「高校生と企業を結ぶ合同企業説明会」及び「いわた・ふくろい就職フェア」への市内参加企業数 【↑】 【出典：総合計画、産業未来課】	社	目標値 31 (H30)	31	32	34	36	38	40	
市内高校及び大学の就業率【↑】 【出典：産業未来課】	%	目標値 97.8 (H26-30 平均)	97.8	97.8	97.8	97.8	97.8	97.8	
理工科大学との協働活動の実施件数（累計） 【↑】 【出典：企画政策課】	件	目標値 3 (H30)	5	7	9	12	15	27	
市民を対象にした学習機会数【理工科大学主催】 【↑】 【出典：生涯学習課】	回	目標値 37 (R1)	38	38	39	39	40	45	
高校生と協働した事業・イベント数（累計） 【↑】 【出典：企画政策課】	回	目標値 4 (R1)	2	4	6	8	10	23	
地域防災への高校生の参加者数【↑】 【出典：危機管理課】	人	目標値 1,902 (R1)	1,900	1,950	2,000	2,050	2,100	2,150	

評価基準	評価	評価基準		
		達成度※1		総合評価※2
		目標値以上	5点	5 ～ 4.5点
	よくできました	目標値未満～70以上	4点	4.4 ～ 3.5点
	いい調子です	70未満～基準値	3点	3.4 ～ 2.5点
	もうひと踏ん張り	基準値未満	1点	2.4 ～ 0点

※1 達成度は、目標値を100とした場合の達成度合いで評価
※2 総合評価は、業績指標の平均点で評価

総合評価

3.8点

TOPICS

袋井商業高校100周年記念式典の開催！

袋井商業高校創立100周年記念式典がさわやかアリーナで開催されました。式典では、生徒会長の鈴木美月さんが「先輩方がつないできた100年の歴史をこれからも繋ぎ、この学校を誇りに思えるよう努めていく」と誓いました。

また、当日は、ワールド・ベースボール・クラシック(WBC)で監督として日本代表チームを世界一に導いた、栗山英樹さんの講演も行われました。

袋井商業100周年記念式典

～100年の歴史をこの先へ～

静岡県袋井商業高等学校

創立100周年記念式典

先輩方がつないできた100年の歴史をこれからも繋ぎ、この学校を誇りに思えるように努めていく (生徒会長：鈴木美月さん)

2023.11.15 静岡新聞

「1日だけ大卒になりたい」

2023.11.10 創立100周年記念式典@さわやかアリーナ

WBC栗山前監督が記念講演

ふくろい FUKUROI

1-3 挑戦する人を応援する土壌づくり

高齢化、人口減少進展等により地域・社会の課題も山積する中、誰もが生涯を通じて学び、事業・産業や教養・文化などの活動のほか、暮らしを通じた多様な挑戦をすることで、これからも豊かさを共創し、実感し合えるまちづくりに向けたチャレンジを応援する環境を整える。

(1) ふくろい「やらまいか」プロジェクト

ふくろい産業イノベーションセンターにおいて、個々の企業が持つビジネスアイデアを通じた分野の垣根を超えた交流機会として「ふくろい産業イノベーションピッチ」を開催したほか、創業希望者や創業して間もない方などを対象に、創業セミナーや創業塾、創業相談会を実施した。

今後の課題は、**新たなビジネスなどを通じて地域に貢献したいという創業意欲の醸成と、その想いを形にするための多様な主体による継続的な支援**であり、挑戦する人を応援し続けるまちを目指し、社会・経済情勢の変化に的確に対応しつつ、地域のニーズや実情に即した支援の在り方をさらに研究し、深化させていく。

主な取組

★＝デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）

・創業支援の推進〔産業未来課〕

創業相談会 : 開催期間6月～1月（全31回）、参加者20人
創業セミナー : 開催日7/8、7/22、8/5、9/9、9/30（全5回）参加者延べ63人
創業塾（超実践コース）: 開催日10/21、11/4、11/18、12/2、1/13、1/28（全6回）参加者6人
プレイベント9/16 参加者9人

・市民活動団体やNPO法人等の活動支援〔協働まちづくり課〕

市民活動団体等との協働事業の実施: 補助事業・連携事業として11事業実施
NPO法人化への支援 : 情報提供や認証申請等を支援
「ふらっと」の管理運営 : 活動情報発信、活動団体のマッチングの相談対応など

★デジタルを活用したネットワーク構築事業〔企画政策課〕

庁内全体で築いてきた人的ネットワークを部署に関係なく広く活用するため、これまで職員が個々に紙で管理していた名刺情報をインターネット上で閲覧・共有できる名刺情報管理サービスの導入を図った。

・ふくろい産業イノベーション推進事業〔産業未来課〕

ピッチイベント : 開催日12/18、参加者93人、プレゼン5件
企業と大学教員との技術相談: 26件
企業と大学との共同研究 : 11件



第3回 産業イノベーションピッチ



創業セミナー

(2) 文化芸術・スポーツ応援プロジェクト

アスリートを「食」でサポートする「袋井スポーツ飯」の取組をはじめ、世界で活躍するアスリートとの交流機会の創出などにより挑戦するアスリートを支える取組を実施した。また、子ども達が文化活動の楽しさを体験できるよう大学と連携し、創作体験ワークショップなどを実施した。

今後の課題は、**スポーツや文化・芸術に触れる機会の更なる創出**であり、スポーツや文化・芸術活動の振興を通じた、市民の参画や団体等との連携を促進することにより、更なる交流人口の拡大を図り、暮らしの豊かさの創出に取り組んでいく。

主な取組

・スポーツツーリズム推進事業〔スポーツ政策課〕

袋井スポーツ飯の開発: 5飲食店が考案した計6メニュー（公認スポーツ栄養士監修）を認定
スポーツ合宿の誘致: 準硬式野球（県外2大学）: 8/12～17 74人
女子バスケット（県内8高校）8/2～3 45人
ジュニアアスリート向け食事講座: 開催日2/3 参加者37人

・袋井クラウンメロンマラソン大会〔スポーツ政策課〕

開催日12/10、参加者2,352人、小笠山総合運動公園エコパ周回コース

・スポーツレガシーの創出〔スポーツ政策課〕

トップアスリート交流事業 陸上: 参加者 中学生約220人、講師 高瀬慧・川瀬聡一郎
サッカー: 参加者 小学生約80人、講師 村主博正・播戸竜二
ラグビーW杯2023フランス大会 日本戦 パブリックビューイング
9/10（人数: 約170人 場所: さわやかアリーナ）、
10/8（人数: 約100人 場所: エコパスタジアム）

・静岡文化芸術大学連携事業（生涯学習課）

えほんワークショップ: 開催日8/18・19 参加者28人

・東京藝大交流事業（生涯学習課）

パブリックアート制作ワークショップ: 開催日8/5、6 参加者62人（市内小中学生）
パブリックアートお披露目会: 開催日3/16、作品タイトル「ヒカリノミチ」、「ヒカリノクモ」



袋井スポーツ飯の開発



パブリックアートの設置及びお披露目会

業績指標の評価

	単位	基準値 (基準年)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	達成度
協働まちづくりセンターの登録団体数（市民活動団体）〔↑〕 【出典：総合計画、協働まちづくり課】	団体	目標値 53 (H30)	50 43	50 44	50 47	50 44	50	50	
NPO団体等が企業と連携し実施した事業数〔↑〕 【出典：総合計画、協働まちづくり課】	件	目標値 11 (H30)	10 1	8 8	9 12	10 13	11	12	
協働まちづくり事業の提案件数（累計）〔↑〕 【出典：協働まちづくり課】	件	目標値 17 (R1)	27 23	37 30	47 40	56 51	65	75	
全国スポーツ大会の出場者数（累計）〔↑〕 【出典：総合計画、スポーツ政策課】	件	目標値 59 (R1)	90 18	62 62	126 118	192 178	260	330	
市内の運動施設の利用者数（エコパを除く） 〔↑〕【出典：総合計画、スポーツ政策課】	人	目標値 551,962 (R1)	750,000 487,943	605,000 583,346	610,000 692,561	615,000 741,335	620,000	625,000	
図書館の個人貸出利用者数〔↑〕 【出典：総合計画、生涯学習課】	人	目標値 136,631 (H30)	150,000 138,965	140,000 150,172	141,500 150,239	143,000 134,116 ※1	144,500	146,000	
月見の里学遊館（水玉プール除く）とメロエーブラ ザの利用者数〔↑〕 【出典：総合計画、生涯学習課】	人	目標値 157,744 (H30)	200,000 59,935	128,800 89,178	144,800 116,166	161,400 88,489 ※2	161,900	162,400	
全国文化芸術大会出場者数（累計）〔↑〕 【出典：生涯学習課】	人	目標値 4 (R1)	10 5	15 8	20 11	25 15	30	35	

※1 袋井図書館：施設改修に伴いR6.1.4～2.29休館
※2 月見の里学遊館：施設改修に伴いR5.9.1～12.31全館（図書館分室含む）休館、R5.7.1～R6.3.31一部（ホール等）休館

評価基準	評 価	評価基準		
		達成度※3		総合評価※4
	よくできました 	目標値以上	5点	5 ～ 4.5点
	いい調子です 	目標値未満～70以上	4点	4.4 ～ 3.5点
	もうひと踏ん張り 	70未満～基準値	3点	3.4 ～ 2.5点
	もっとがんばろう 	基準値未満	1点	2.4 ～ 0点

総合評価



3.2点

※3 達成度は、目標値を100とした場合の達成度合いで評価
※4 総合評価は、業績指標の平均点で評価

TOPICS

中遠4市が連携した若手職員を中心とする「遠州どぼくらぶ」発足！

袋井市ほか3市は、若手職員を中心とする「遠州どぼくらぶ」を設立しました。袋井建設業協会や静岡理科大学と連携し、土木・建設業界のイメージ向上のため魅力を発信していきます。

今後は、SNSでの情報発信のほかに、建設現場見学会や小中高校への出張授業などを予定しています。



2-1 新たな産業と地域社会づくり

Society5.0やSDGsなど、社会や産業の変化を好機として、地域の課題解決と持続的な産業発展を実現するため、地域内外の産学官金連携等により、既存の事業活動等の効率化を図るとともに、新規・成長分野の開拓や新たな地域社会システムの革新に向けたチャレンジを進める。

(1) 地域の「稼ぐチカラ」向上プロジェクト

社会課題の解決や市民サービスの向上を目指し、浜松市と湖西市との連携のもと、スタートアップ企業等への支援を実施したほか、地元企業に対して大学の教員等による技術課題の解決支援などを行った。

今後の課題は、**社会潮流の変化への対応と中小企業の成長をいかに結びつけることができるか**であり、産学官金が連携し伴走型の企業支援に取り組んでいくほか、新たなイノベーション喚起に向け、スタートアップ企業と地元企業とのマッチングを促進し、地域や事業所が抱える課題解決を図るとともに、地域内取引の拡大を促すよう取り組んでいく。

主な取組

- ・ふくろい産業イノベーション推進事業〔産業未来課〕
ピッチイベント : 開催日12/18、参加者93人、プレゼン5件
企業と大学教員との技術相談 : 26件
企業と大学との共同研究 : 11件
- ・スタートアップ実証実験サポート支援事業〔産業未来課〕
実施期間 : 10月～3月
支援内容 : 補助金1,283千円、袋井排水機場の貸出など
- ・デジタルスタンプラリー事業〔商業観光課〕
ぐるっと袋井スマホdeスタンプラリー : 実施期間7月～1月、参加店舗170店舗、参加者4,034人
- ・創業支援の推進〔産業未来課〕
創業相談会 : 開催期間6月～1月(全31回)、参加者20人
創業セミナー : 開催日7/8、7/22、8/5、9/9、9/30(全5回) 参加者延べ63人
創業塾(超実践コース) : 開催日10/21、11/4、11/18、12/2、1/13、1/28(全6回) 参加者6人
プレイベント9/16 参加者9人
- ・中心市街地等空き店舗対策事業〔商業観光課〕
空き店舗対策事業補助金 : 継続8件、新規9件



スタートアップ実証実験サポート支援事業



ぐるっと袋井スマホdeスタンプラリー

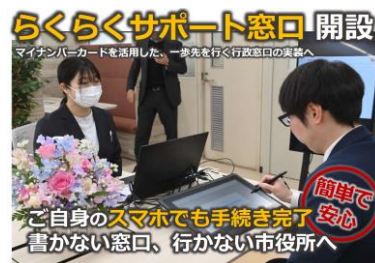
(2) 近未来技術等の社会実装プロジェクト

LPWA(無線通信技術)を活用し、小規模河川などの水位データの収集のほか、デジタルに不慣れな方でも安心してマイナンバーカードによる申請手続きができるよう、浅羽支所内に申請手続きの相談や電子申請の入力補助を行う「らくらくサポート窓口コンシェルジュ」を新たに配置するなど、新たな技術を組み入れた課題解決へのアプローチを試行した。

今後の課題は、**急速に進展する革新的技術をいかに地域課題解決に活用していけるか**であり、関係企業や各種団体と連携し、新たな技術を組み入れたサービスの社会実装に向けた取組を実施・支援していく。

主な取組

- ・LPWA通信を活用した実証事業〔デジタル政策課〕
排水機場の水位と稼働状況の可視化 : 14箇所
 - ・スマートシティの推進〔デジタル政策課〕
オープンデータ活用 : 自動生成システム利用、公開件数延べ958件
 - ・市民窓口の多様化モデル構築事業〔デジタル政策課〕
浅羽支所の空きスペースを活用し「らくらくサポート窓口コンシェルジュ」を配置
「オンライン市役所システム※」の実装に向けた効果検証
- ※オンライン市役所システム
新たな窓口モデルとして、マイナンバーカードによる本人認証等を活用し、「書かない窓口」や「行かない窓口」などを実現するために組み合わせた複数の窓口システム
- ・荒廃農地解消事業〔農政課〕
令和5年度から、タブレット並びにAI、衛生データを活用した荒廃農地調査システム「ACTABA」(アクタバ)を導入



らくらくサポート窓口コンシェルジュ

農地パトロールでのタブレット利用



地図データにより、AIの活用や現在地を確認しながら、正確かつ短時間での調査が可能になりました。また、常に農地状況を確認することができ、地域相談に迅速に対応することができるようになりました。

ACTABA実証実験@農業振興委員会より

業績指標の評価

指標名	単位	基準値 (基準年)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	達成度
製造品出荷額等（従業員4人以上）〔↑〕 【出典：総合計画、産業未来課】	億円	目標値 5,880 (H29)	5,880 (R1)	5,960 (R2)	6,040 (R3)	6,130 2月頃公表	6,200	6,200	—
企業立地件数（製造業）（累計）〔↑〕 【出典：総合計画、産業未来課】	件	目標値 1 (H30)	2 1	4 3	6 4	8 5	10	12	
静岡理工科大学と市内企業の共同研究件数（累計）〔↑〕【出典：総合計画、産業未来課】	件	目標値 5 (H30)	5 1	10 6	15 22	20 33	25	30	
経営革新計画の承認件数（製造業）（累計）〔↑〕【出典：総合計画、産業未来課】	件	目標値 2 (H30)	7 13	14 18	21 30	28 32	35	42	
市、商工団体、金融機関の支援による創業件数（累計）〔↑〕【出典：総合計画、産業未来課】	件	目標値 41 (H30)	45 47	90 85	135 157	180 210	225	270	
よろず支援拠点への相談件数（袋井市）（累計）〔↑〕【出典：産業未来課】	件	目標値 154 (H30)	154 236	308 415	462 511	616 682	770	920	
卸売業・小売業及び宿泊業・飲食サービス業の売上（収入）金額〔↑〕【出典：産業未来課】	億円	目標値 2,397 (H28)	2,400 2,397	2,400 2,397	2,500 3,091	2,500 3,091	2,500	2,500	
満足 of いく雇用機会に恵まれていると思う人の割合〔↑〕【出典：市民意識調査】	%	目標値 26.8 (H30)	30.0 36.3	35.0 42.8	40.0 39.1	45.0 37.8	50.0	50.0	
近未来技術等を活用した実証事業数（累計）〔↑〕【出典：企画政策課、デジタル政策課】	件	目標値 5 (R1)	7 4	9 8	11 11	13 12	15	15	

評価基準	評価	評価基準	
		達成度※1	総合評価※2
よくできました 		目標値以上	5点
いい調子です 		目標値未満～70以上	4点
もうひと踏ん張り 		70未満～基準値	3点
もっとがんばろう 		基準値未満	1点

※1 達成度は、目標値を100とした場合の達成度合いで評価
※2 総合評価は、業績指標の平均点で評価

総合評価



4.0点

TOPICS

袋井ブランド事業／袋井商工会議所 「推奨品プレミアム」新たに6品を追加認定

地元の自慢の一品をPRする袋井商工会議所のブランド事業「袋井商工会議所推奨品プレミアム」に、袋井産のオリーブを使用した「オリーブオイル」や袋井発祥の郷土料理「おもろ」などの6品が追加認定されました。同事業は、会員企業の優れた商品の掘り起こしや地域のブランド力強化を目的とした取組で、現在23品目が認定を受け、販売促進などに活用されています。

これまでに認定された品も含め、袋井のブランド品やお土産品として幅広く発信していきます。



2-2 稼げる農業づくり

本市が強みを持つ産業分野である農業の一層の発展を実現するため、これまでの蓄積を基盤としつつ、新しい技術の積極的な活用や異業種との連携強化による生産性向上と付加価値の創出や国内外の販路開拓、ブランド力向上に取り組む。

(1) 農業の未来を創るプロジェクト

農業の担い手を育成するため、農業を取り巻く環境変化と自らの農業経営の強みや弱みを踏まえた現状の分析と経営改善方法を習得する「ふくろい農業未来塾」を開催した。また、AI搭載の現地調査アプリ「ACTABA」（アクタバ）を活用し、荒廃農地を的確に把握する実証実験を行うなど、荒廃農地の再生と利活用の推進に努めた。

今後の課題は、**農業者の経営力強化や担い手の確保をはじめ、生産性の向上等**であり、引き続き県やJAなどと連携しつつ、本市の持つ「農」の魅力を「農産物直売フェア」などのイベントのほか、SNSなどを活用しながら積極的に情報発信することで、担い手の確保や生産性の向上に取り組んでいく。

主な取組

- ・担い手育成支援〔農政課〕
担い手農家等機械整備事業：交付件数30件
農業次世代人材投資資金交付事業※：交付件数3件
- ・耕作放棄地の解消〔農政課〕
荒廃農地再生・集積推進事業費補助金：浅羽西地区12a、浅羽南地区43a解消
現地調査システム「ACTABA」（アクタバ）：タブレット端末を活用した実証実験
- ・農産物直売フェア開催〔農政課〕
開催日：1/8、出店：12店舗
- ・学校給食への地場産品活用促進〔おいしい給食課〕
地産地消率：目標値33.0%、実績値42.04%
収穫体験：実施16件、小学校10校、たけのこ・グリンピース・じゃがいも・キャベツなど



農産物直売フェア



たけのこの皮むき体験（収穫体験）

(2) 世界で戦える農産品と新たなビジネスモデル創出プロジェクト

全国的に需要が拡大している「ほうじ茶」に着目し、袋井産茶葉100%使用のほうじ茶ペットボトル飲料を商品化したほか、市場のニーズに合わせた農産物の生産や販売、さらには首都圏でのPRイベント等を活用した新たなブランディングなど、市場の開拓に向けた販売・交流機会の創出を図った。

今後の課題は、**市場ニーズに合った商品の生産・流通・販売などの体制の構築**であり、さらなる販路拡大に向け農産品のブランド力強化のため、付加価値を向上し他産地との差別化を図るとともに、時代に合った生産・流通システムの構築など、新たなビジネスモデルの創出に必要な支援に取り組んでいく。

主な取組

- ・ふるさと納税を通じたシティプロモーション事業〔企画政策課〕
商品の魅力や価値を高める勉強会の開催：サムネイル画像などの作り方ほか
ららぽーと三郷（埼玉県）への出店：ふるさと納税返礼品等を通じた首都圏のイベント
- ・付加価値向上支援〔農政課〕
茶葉支援対策事業費補助金：交付件数27件
クラウンメロン振興協議会補助金
袋井茶振興協議会補助金
ふくろいブランド米開発販売促進事業補助金
- ・6次産業化の促進〔農政課〕
6次産業化促進支援事業費補助金：交付件数9件
- ・主要農産物（温室メロン・茶・米）の振興〔農政課、企画政策課〕
温室メロン：海外（香港、アメリカ等）での市場調査・商談 など
茶：茶葉支援対策事業費補助金（交付件数27件）
ほうじ茶の新たな展開に向けた取組 など
米：経営所得安定対策等の実施による農家所得の向上 など



ららぽーと三郷での出店



ほうじ茶ペットボトルの商品化

業績指標の評価

指標名	単位	基準値 (基準年)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	達成度
主要農産物産出額 [↑] 【出典：総合計画、農政課】	億円	目標値 72.8 (H30)	72.2 66.0	71.9 70.7	71.6 70.4	71.3 71.6	71.0	72.0	
利用権設定面積 [↑] 【出典：総合計画、農政課】	ha	目標値 978 (H30)	1,100 1,119	1,063 1,103	1,088 1,130	1,113 1,127	1,138	1,163	
農業法人数 [↑] 【出典：総合計画、農政課】	法人	目標値 37 (H30)	40 36	39 37	40 39	41 39	42	43	
耕地面積 [↑] 【出典：農政課】	ha	目標値 3,300 (H29)	3,300 3,200	3,300 3,170	3,300 3,130	3,300 3,110	3,300	3,300	
新規就農者数（累計） [↑] 【出典：農政課】	人	目標値 12 (H29)	12 12	24 21	36 30	48 40	60	72	
耕作放棄地の解消面積（累計） [↑] 【出典：農政課】	ha	目標値 11.2 (H30)	12 4	24 34	36 43	48 62	60	72	
お茶の出荷量（袋井地区農協共販実績）（累計） [↑] 【出典：農政課】	t	目標値 1,008 (H30)	1,000 1,043	2,000 2,030	3,000 3,007	4,000 4,123	5,000	6,000	
お茶の年間平均単価（袋井地区農協共販実績） [↑] 【出典：農政課】	円	目標値 657 (R1)	660 630	660 767	660 690	660 650	660	660	
お茶の海外輸出货量（累計） [↑] 【出典：農政課】	t	目標値 6 (H30)	6 1.8	12 2.3	18 7.3	24 17.5	30	36	
クラウンメロンの市場出荷箱数（1箱6個入） （累計） [↑] 【出典：農政課】	箱	目標値 277,831 (H30)	277,800 309,199	555,600 602,653	833,400 876,565	1,111,200 1,128,293	1,389,000	1,500,000	
クラウンメロンの年間平均出荷額（箱単価） [↑] 【出典：農政課】	円	目標値 11,026 (H30)	11,250 10,668	11,500 12,029	11,750 12,626	12,000 13,060	12,000	12,000	
クラウンメロン加工品取扱企業数 [↑] 【出典：農政課】	社	目標値 53 (H30)	53 45	53 53	53 42	53 40	53	53	
学校給食における市内産野菜の使用率（重量ベ- ス） [↑] 【出典：総合計画、おいしい給食課】	%	目標値 34.2 (H30)	33.0 33.1	33.0 44.7	33.0 40.0	33.0 42.0	33.0	33.0	

評価基準	評価	評価基準		
		達成度※1		総合評価※2
	よくできました	目標値以上	5点	5 ～ 4.5点
	いい調子です	目標値未満～70以上	4点	4.4 ～ 3.5点
	もうひと踏ん張り	70未満～基準値	3点	3.4 ～ 2.5点
	もっとがんばろう	基準値未満	1点	2.4 ～ 0点

総合評価



3.5点

※1 達成度は、目標値を100とした場合の達成度合いで評価
※2 総合評価は、業績指標の平均点で評価

TOPICS

晩茶のイノベーション／新しい飲み方・楽しみ方提案 ～ “bodhi” (ボーディー) 「につぼんの宝物」世界大会グランプリ受賞 ～

袋井市を拠点に晩茶の再興を目指すグループ「晩茶研究会」のメンバーが開発したスパークリングティー「bodhi」(ボーディー)が、8月下旬にシンガポールで開かれたにつぼんの宝物 世界大会に出場し、日本と海外の融合部門で見事グランプリを受賞しました。海外の著名シェフや起業家から「世界に通じる将来性がある」などと評価され、お茶の新たな可能性を世界に発信しました。



2-3 「ふくろい」ならではの暮らしづくり

市民が誇りと愛着を持つ生活文化、地域資源を再確認・発掘し、世界や全国を視野に本市の魅力を伝えるものに磨き上げ、市民の定着や関係人口の増加につなげていくため、商品・プログラム開発などの魅力づくりに取り組むとともに、体験・交流機会の提供や環境整備、情報交流を推進する。

(1) 観光ビジネス創出プロジェクト

海プロフェスタやエキマチフェスタ、花マルシェなど、海や公園、広場、河川をはじめとする公共空間を利活用し、官民が連携した賑わい創出を図ったほか、袋井駅周辺や観光施設のライトアップなど、誘客や観光消費の拡大を図った。

今後の課題は、**域内の消費拡大に向けた地域資源の有効活用と連携強化**であり、多様な主体との更なる連携強化を図り、ふくろいならではの賑わいづくりに取り組んでいくとともに、地域資源を活用したビジネスの担い手育成・確保などの支援により、地域内消費の拡大に取り組んでいく。

主な取組

- ・海のにぎわい創出プロジェクト〔企画政策課、維持管理課、スポーツ政策課〕
海プロフェスタ「NIGHT WAVE ～光の波プロジェクト～」実施：開催日12/15・16
袋井幸浦の丘プロジェクト：地元住民向けニュースレター作成など
- ・公共空間を活用した賑わい創出〔維持管理課、生涯学習課、企画政策課、都市計画課〕
花マルシェ：ふくろい宿de花マルシェ（開催日6/11、袋井宿場公園）
エキマチフェスタ：開催日8/26・11/26、袋井駅周辺
ミズベリング：原野谷川de夕涼み（開催日8/26、参加者500人）
FUKUROI水辺百景（〔撮影会〕11/11、参加者14組31人
〔展覧会〕11/28～12/3、参加者25人）
青空図書館：開催日11/19、参加者約500人、浅羽図書館
- ・夜の賑わいづくり創出〔商業観光課〕
飲食店等紹介冊子「ふく呑みvol. 5」作成
袋井駅周辺ライトアップ：実施期間11/23～1/31
観光施設ライトアップ（法多山、可睡齋）：実施期間11/23～12/3 など
- ・ふくろい観光ルネッサンス〔商業観光課〕
遠州三山風鈴まつり：実施期間5/20～8/31
遠州三山紅葉めぐり：実施期間11月中旬～12月上旬
可睡齋ひなまつり：実施期間1/1～3/31



遠州三山紅葉めぐり（油山寺）



海プロフェスタ（ナイトウェーブ）

(2) ふくろいファンづくりプロジェクト

ふるさと納税の申込サイトの充実・強化をはじめ、観光地などで撮影した写真や動画を募り、SNSを活用したコンテストを開催するなど、市民参加型のシティプロモーション活動の充実・強化を図った。また、「移住・交流ポータルサイト」の運営を通じて、移住検討者に向けたPRだけでなく、関係人口の創出や拡大に向けた情報発信を行った。

今後の課題は、**地域づくりの担い手として期待される関係人口の創出・拡大**であり、多様な主体と連携した、様々なチャネルや機会を通じて、新たな仲間づくりに取り組んでいく。

主な取組

- ・ふるさと納税の推進〔企画政策課〕
申込サイト：全17サイト
新規返礼品：82品追加（オルビス化粧品やペットフードなど）
寄付実績：68,215件、1,289,669,000円
- ・地域資源プロモーション〔企画政策課〕
Instagramを活用したフォト・動画コンテスト
・Instagram フォト&ショートムービーコンテスト～みんなで振り返る2023 袋井の思い出～
実施期間12/8～1/10、応募作品数680件
ららぽーと三郷（埼玉県）への出店：ふるさと納税返礼品等を通じた首都圏のイベント
- ・姉妹都市・友好都市交流〔秘書課〕
学校給食による交流促進
情報発信：映像やパネル等の展示（実施期間2/26～3/8、本庁1階市民ホール）
袋井市民訪問（北杜市）：実施日9/23、参加者28人
広報紙への掲載（塩尻市）、SNSでの情報発信（北杜市）
ヒルズポロ市との姉妹都市提携35周年記念事業
・ヒルズポロ市長とのWEB会談（実施日11/2・35冊の本の交換などを実施）
・記念展示（実施期間10/23～11/17・本庁1階市民ホール）など
- ・移住・定住促進事業〔企画政策課〕
移住交流ポータルサイトの運営
「静岡まるごと移住フェア」への出展：出展日8/19、2/4・東京交通会館



Instagramフォトコンテスト



北杜市とのインスタコラボ企画

業績指標の評価

指標名	単位	基準値 (基準年)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	達成度
観光交流客数〔↑〕 【出典：総合計画、商業観光課】	千人	目標値 4,753 (H30)	5,075 2,403	5,100 3,320	5,125 4,145	5,150 4,590	5,175	5,000	
観光案内所の来場者数〔↑〕 【出典：商業観光課】	人	目標値 20,172 (H30)	20,000 5,551	21,000 6,381	22,000 8,715	23,000 9,406	24,000	24,000	
ホームページ等のアクセス数（観光関係）〔↑〕 【出典：総合計画、商業観光課】	件	目標値 583,522 (H30)	800,000 307,773	363,000 603,748	413,000 886,772	463,000 939,611	513,000	950,000	
市公式SNS「いいね」の数〔↑〕 【出典：企画政策課】	件	目標値 35,459 (H30)	40,000 14,401	45,000 145,807	50,000 162,707	55,000 188,674	60,000	190,000	
全国地域ブランド調査における魅力度の順位 〔↑〕【出典：企画政策課】	位	目標値 600 (H30)	540 550	480 648	420 732	360 796	300	500	
ふるさと納税件数〔↑〕【出典：企画政策課】	件	目標値 1,240 (H30)	7,800 34,365	8,100 49,340	8,400 57,127	8,700 68,215	9,000	70,000	
ふれあい夢市場の来場者数〔↑〕 【出典：市民サービス課】	人	目標値 18,000 (R1)	19,000 中止	19,250 中止	19,500 13,000	19,750 20,000	20,000	20,000	
公共空間（公園、河川、道路）を活用した賑わい 創出イベント数（累計）〔↑〕 【出典：維持管理課、都市計画課】	件	目標値 6 (R1)	7 7	14 16	21 26	28 37	35	35	

評価基準	評価	評価基準		
		達成度※1		総合評価※2
	よくできました	目標値以上	5点	5 ～ 4.5点
	いい調子です	目標値未満～70以上	4点	4.4 ～ 3.5点
	もうひと踏ん張り	70未満～基準値	3点	3.4 ～ 2.5点
	もっとがんばろう	基準値未満	1点	2.4 ～ 0点

※1 達成度は、目標値を100とした場合の達成度合いで評価
※2 総合評価は、業績指標の平均点で評価

総合評価

3.5点

TOPICS

スルガ銀行との連携事業
首都圏におけるシティプロモーション事業

東京・日本橋にあるスルガ銀行東京支店の屋外
ビルボードサイネージ（放映頻度：約40分に1回）
にて、本市のシティプロモーション動画やふるさと
と納税PR映像を放映しました。
本市の魅力がより多くの方に伝わり、ふるさと
納税や移住に繋げることができるよう、今後も
様々な方策により取り組んでまいります。



3-1 人生100年時代「全世代が活躍するまちづくり」

世代を問わず生涯を通じて全ての人が意向、能力、健康状態に応じて活躍できるまちをつくるため、就労・活躍機会の拡大、健康維持・増進、環境の整備等に取り組む。

(1) 生涯活躍のまちづくりプロジェクト

官民共創の基盤づくり推進事業では、人口減少と高齢化の進展による公助縮小下においても持続的な発展が可能な地域経営のあり方の実現に向けて、これまでの実証成果をもとに、社会連携推進の仕組みづくりとして「スマート共創コミュニティの構築に関する調査研究」に取り組んだ。また、市民の健康に対する意識や知識を高めるため、健康アプリの活用促進や地域での保健指導などに取り組んだ。

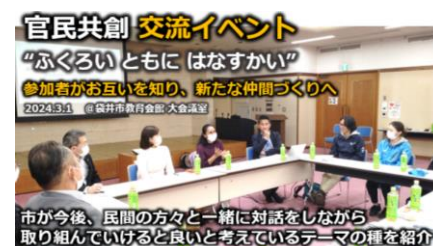
今後の課題は、**新たなコミュニティが生まれやすい仕組みづくりであり、**官民がつながり、対話ができるプラットフォームを基盤に、デジタルの要素も踏まえながら、生涯活躍できる地域社会の実現を目指していく。

主な取組

- ・官民共創の基盤づくり推進事業【企画政策課】
官民共創ネットワークを設置し、各機能ごとの仕組みの有効性を検討した。
：アドバイザーボード、ワーキング、交流イベント、庁内ワーキング
実証事業
：7/22海プロフェスタ浅羽体育センター納涼祭、
8/26・11/26フクロイエキマチフェスタ、12/15・16海プロフェスタ
- ・働く世代からの健康づくり【健康未来課・健康長寿課】
男の健康道場
：開催日9～10月（4回コース）、参加者22人
こころと体の健康教室
：開催日5/20、参加者31人
健康度測定
：開催期間5～3月（全10回）、参加者64人
＃2961ウオークの推進
：登録者数6,176人
ポイント付与増加キャンペーン
歩数ポイント倍増、特定健診受診の付与ポイント増加
- ・健康リテラシーの向上【健康長寿課・保健予防課】
ふくろい健康保健室
：実施70回、延べ参加者1,947人
おやこ保健室
：実施30回、集団指導参加者139人、個別指導参加者120人
みんなのよりみち保健室：実施7回、市内のスーパーやドラッグストア等
延べ参加者971人
出前健康教室
：公会堂40回、参加者784人
事業所等53回、参加者2,456人
地域活動サークル6回、参加者37人



第2回 官民共創ワーキング



官民共創交流イベント
“ふくろい”ともに はなすかい”

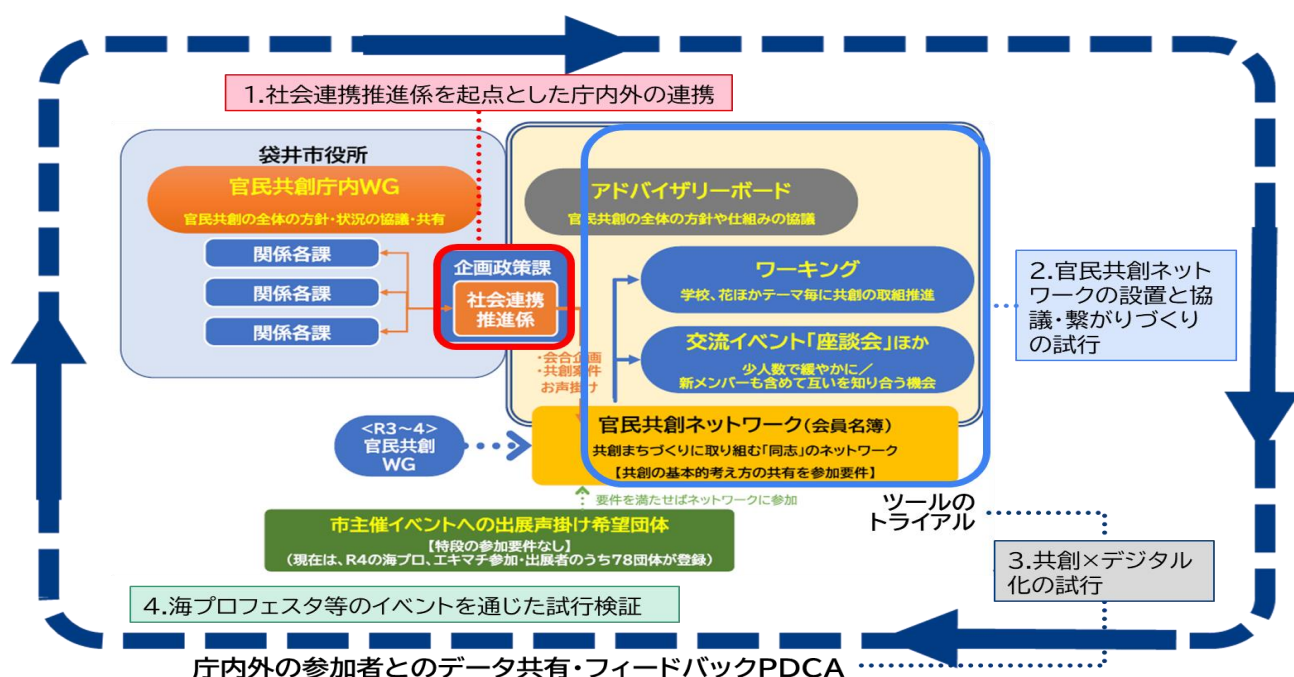


図 社会連携推進係を起点とした、庁内外の連携と循環

業績指標の評価

指標名	単位	基準値 (基準年)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	達成度
お達者度（男性）〔↑〕 【出典：総合計画、健康未来課】 ※R5～算出方法変更。今後、指標名変更の可能性あり	年	目標値 17.78 (H28)	17.92 18.77 (H30)	17.98 19.19 (R1)	18.05 19.30 (R2)	18.12 9月公表	18.19	18.19	—
お達者度（女性）〔↑〕 【出典：総合計画、健康未来課】 ※R5～算出方法変更。今後、指標名変更の可能性あり	年	目標値 21.18 (H28)	21.34 21.54 (H30)	21.41 21.58 (R1)	21.49 22.21 (R2)	21.57 9月公表	21.65	21.65	—
（公社）袋井・森地域シルバー人材センターの就 業延人員〔↑〕【出典：総合計画、産業未来課】	人	目標値 64,553 (H30)	67,000 55,916	64,200 56,337	68,200 60,255	72,400 57,983	76,800	79,600	
健康経営チャレンジ事業所数〔↑〕 【出典：健康未来課】	事業所	目標値 70 (H30)	160 135	200 134	210 135	220 131	230	230	
袋井市が住みやすいと感じている人の割合〔↑〕 【出典：市民意識調査】	%	目標値 71.9 (H30)	72.0 71.4	74.0 72.9	76.0 73.3	78.0 73.7	80.0	80.0	

評価基準	評 価	評価基準			
		達成度※1		総合評価※2	
	よくできました		目標値以上	5点	5 ～ 4.5点
	いい調子です		目標値未満～70以上	4点	4.4 ～ 3.5点
	もうひと踏ん張り		70未満～基準値	3点	3.4 ～ 2.5点
もっとがんばろう		基準値未満	1点	2.4 ～ 0点	

総合評価



2.7点

※1 達成度は、目標値を100とした場合の達成度合いで評価
※2 総合評価は、業績指標の平均点で評価

TOPICS

損保会社との連携協定事業 始動！

市では、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社と令和5年1月に「地方創生の推進に関する連携協定」を締結しました。
地域防災や企業労務管理支援等の既存の協力関係を強化するとともに、地域・暮らしの安全安心や文化・スポーツ分野等での協力も推進し、官民共創により、地域課題の解決に向けて取り組んでいきます。



- ①家具固定などの防災・減災補助制度の周知（危機管理課）

家具固定補助制度の申請件数が伸び悩んでいることから、同社の営業担当者が、保険契約者の更新手続きなどに伴う家庭訪問時に、補助制度の利用促進に向けた周知啓発を行う。これにより、家具固定の促進につなげる。


- ②高齢者向けの交通安全教室の充実（協働まちづくり課）

高齢者の交通安全意識の向上と事故防止のため、シュミレータを用いた自動車や自転車の運転体験を実施し、高齢者が加齢により身体機能の低下を体感し、高齢者交通事故の危険性を再認識することで、交通事故防止につなげる。


- ③スポーツイベントへのトップアスリートの活用（スポーツ政策課）

クラウンメロンマラソンへの首都圏等県外からの参加者が減少していることから、同社所属のプロランナーの川内選手をクラウンメロンマラソンに招待するとともに、市内小中学生を対象としたマラソン講座を開催することで、更なる大会の魅力向上とアスリートを目指す小中学生の人材育成につなげる。





クラウンメロンマラソン
川内選手のマラソン講座→

3-2 支え合う多様な仲間づくり

高齢化の進展下、介護、子育て、防災などで互いに支え合えるまちをつくるため、コミュニティセンター等を拠点として日頃から安心できる仲間づくり、互助の仕組みづくりを進める。

(1) 支え合い・つながり創出プロジェクト

損保会社と自治会の交通安全会とが連携して、危険なシチュエーションを疑似体験できるシミュレーターを用いた交通安全教室を実施したほか、地域コミュニティ活動の情報発信を強化するため、コミュニティセンターのLINE公式アカウントや地域版ホームページを活用した情報発信を行った。

今後の課題は、**コミュニティセンターを拠点とした地域コミュニティ活動の活性化**であり、地域活動やイベント情報を、SNS等を活用して情報発信するとともに、高齢者支援・子育て・防災等において、まちづくり協議会の活動を引き続き支援するなど、互いに支え合う互助・共助の体制づくりに取り組んでいく。

主な取組

- ・特色ある地域づくりの推進【協働まちづくり課】
特色ある地域づくり交付金の活用：まちづくり協議会10地区（袋井東、豊沢、袋井北、今井、三川、笠原、山名、高南、浅羽西、浅羽北）、計13事業
まちづくり協議会交流会：開催日2/3
- ・LINE公式アカウントを活用した情報発信の検証【協働まちづくり課】
14地区、登録者数9,490人、情報発信数1,014件
- ・地域版ホームページを活用した情報発信の検証【協働まちづくり課】
最新の情報や魅力的で情報発信力の高いページを市民に提供する等、コミュニティセンター等の活用に役立つ情報を配信。
- ・新たな地域公共交通「地域タクシー」の試験運行【協働まちづくり課】
袋井東地区：実施期間4～3月、利用登録者288人、運行日数241日、延べ利用者数1,958人
笠原地区：実施期間11～1月、利用登録者35人、運行日数22日、延べ利用者数52人
- ・損保会社と連携した交通安全教室【協働まちづくり課】
自動車運転シミュレーターを用いた交通安全教室：開催日11/18、袋井市教育会館、参加者27人
歩行シミュレーターを用いた交通安全教室：開催日12/6、幸浦コミュニティセンター、参加者30人



まちづくり協議会交流会



歩行シミュレーター交通安全講習
@あいおいニッセイ

まちづくり協議会名	活動の名称
袋井東地区まちづくり協議会	いのちを守る防災隊
	久努の松並木愛護会
豊沢地区まちづくり協議会	歴史・文化講演会
	豊沢ふれあい秋の花火
袋井北地区まちづくり協議会	地震対策住民アンケート
今井地区まちづくり協議会	暮らしやすい地域づくりに関する住民アンケート調査
三川地区まちづくり協議会	三川小学校創立150周年記念事業
笠原地区まちづくり協議会	笠原ふれあい農園整備運営事業
山名地区まちづくり協議会	地域防災活動（洪水ハザードマップガイドブック整備）事業
高南まちづくり協議会	デジタルデバインド事業
	「高南暮らしの支援隊」事業
浅羽西地区まちづくり協議会	花火で地域を超えた連携強化
浅羽北地区まちづくり協議会	「しあわせの黄色いハンカチ」プロジェクト

業績指標の評価

指標名	単位	基準値 (基準年)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	達成度
地区まちづくり協議会が新たに取り組んだ特色ある地域づくり活動の数（累計）〔↑〕 【出典：総合計画、協働まちづくり課】	事業	目標値	5	10	15	20	25	30	
		5 (R2推計)	10	19	27	40			
NPO団体等が企業と連携し実施した事業数【再掲】〔↑〕 【出典：総合計画、協働まちづくり課】	件	目標値	10	8	9	10	11	12	
		11 (H30)	1	8	12	13			
コミュニティセンターの利用者数〔↑〕 【出典：総合計画、協働まちづくり課】	人	目標値	410,000	412,000	413,000	414,000	415,000	416,000	
		384,128 (H30)	207,168	219,436	261,892	299,919			
通いの場の箇所数（週1回以上の活動）〔↑〕 【出典：総合計画、健康未来課、健康長寿課】	箇所	目標値	70	75	80	85	90	93	
		70 (R2推計)	69	67	72	76			
総合健康センターでの総合相談件数〔↑〕 【出典：総合計画、健康長寿課】	件	目標値	4,600	4,700	4,800	4,900	6,600	6,700	
		3,423 (H30)	5,317	5,689	6,044	5,741			
消防団員の充足率〔↑〕 【出典：総合計画、危機管理課】	%	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
		85.61 (R1)	81.2	81.2	77.9	74.4			
見守りネットワーク実施箇所数（自治会数）〔↑〕【出典：健康長寿課】	箇所	目標値	65	68	71	74	106	110	
		62 (R1推計)	69	69	87	110			
地域の絆や支え合いの仕組みが形成されていると感じている人の割合〔↑〕 【出典：市民意識調査】	%	目標値	55.0	55.0	60.0	65.0	70.0	70.0	
		50.6 (H30)	41.8	45.6	43.6	44.4			
仕事や家庭以外に所属するコミュニティがあると感じている人の割合〔↑〕 【出典：市民意識調査】	%	目標値	55.0	55.0	60.0	65.0	70.0	70.0	
		54.0 (H30)	42.0	43.9	44.7	42.8			

評価基準	評 価	評価基準		
		達成度※1		総合評価※2
	よくできました	目標値以上	5点	5 ～ 4.5点
	いい調子です	目標値未満～70以上	4点	4.4 ～ 3.5点
	もうひと踏ん張り	70未満～基準値	3点	3.4 ～ 2.5点
	もっとがんばろう	基準値未満	1点	2.4 ～ 0点

※1 達成度は、目標値を100とした場合の達成度合いで評価
※2 総合評価は、業績指標の平均点で評価

総合評価

3.1点

TOPICS

農福連携による地域活性化プロジェクト！

障がい者支援を行うNPO法人や地域の農家、委託販売事業者の3者が連携し、ジェラート製造を行うための取組の資金調達に、地域の活性化や課題解決に資する活動を支援するクラウドファンディング活用支援事業補助金を活用した。

本事業を通じて、活動資金の一部が調達できたほか、障がい者が地域とつながりを持ち、ジェラートの製造を通じて自立していく様子をSNSやチラシで発信することで、共生社会への理解促進を図った。



3-3 多様性を強みとするまちづくり

外国人市民や障がい者、女性の活躍が期待される中、高齢者、学生あるいは地域外に住む関係人口など多様な価値観を尊重し、多様性を本市の魅力や発展への活力としていくため、多文化共生、男女共同参画等の取組を進める。

(1) 「共創社会」加速化プロジェクト

異文化への理解を深める講座や「やさしい日本語」研修会の開催、アメリカヒルズボロ市との姉妹都市提携35周年を記念したアメリカ音楽に親しむイベントなど共生社会の推進に向けた取組を充実させた。また、女性の社会参画を推進するため、男性向け家事参画講座などを開催した。

今後の課題は、**女性や障がいのある方、外国人市民など誰もが活躍できる場を増やすこと**であり、地域・事業者・行政がさらに連携し、性別や国籍、障がいの有無を問わず、誰もが地域に住む市民として暮らしやすい環境づくりの推進により、多文化や多様性を本市の魅力として、相互に共感できる共創社会の実現に取り組んでいく。

主な取組

・多文化共生の推進〔協働まちづくり課〕

多文化共生情報紙「共生のトビラ」発行：第5号6月、第6号11月発行（各5,100部）
 地域共生コミュニティ会議：第1回開催日5/21、参加者16人
 第2回開催日6/11、参加者29人
 第3回開催日7/2、参加者27人
 職員向け「やさしい日本語」研修会：開催日8/9、参加者48人
 事業所向け多文化共生講演会：開催日7/21、参加者15人
 「にじいろ階段」の設置：実施期間4/10～6/30
 多文化共生「FUPPY教室」：実施日12/17・2/18、延べ参加者24人

・異文化への理解を深める取組〔協働まちづくり課〕

海外文化体験inふくろい：第1弾開催日1/28、袋井市教育会館、参加者48人
 第2弾開催日3/3、袋井市教育会館、参加者17人
 「ふくろい版ホームステイ」の実施：実施日8/26～27、参加者10人・9家庭
 グリーンライトアップ：開催日3/17、司企業株式会社（旧シンドラーエレベータ）
 台湾屏東県「2023屏日友好祭」におけるPR：開催期間7/7～9

・男女共同参画の推進〔協働まちづくり課〕

女性活躍推進セミナー：開催日6/26、参加者70人
 テーマ「企業を成長に導くための経営戦略
 ～女性活躍はなぜ企業を強くするのか～」
 男性向け家事講座：お掃除編 開催日12/9、参加者20人
 アイロンと調理体験編 開催日1/27、参加者13人



男性向け家事講座



海外文化体験inふくろい（アメリカ音楽）



地域共生コミュニティ会議



ふくろい版ホームステイ



女性活躍推進セミナー

業績指標の評価

指標名	単位	基準値 (基準年)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	達成度
多文化共生を推進するための講座数〔↑〕 【出典：総合計画、協働まちづくり課】	講座	目標値	10	13	13	14	14	15	
		12 (R1)	10	15	16	17			
外国人市民の防火防災啓発活動の参加率〔↑〕 【出典：総合計画、袋井消防本部予防課】	%	目標値	2.0	4.0	6.0	8.0	10.0	10.0	
		1.9 (R2)	1.9	3.2	5.4	7.6			
障がい者の法定雇用率を達成している民間企業の割合〔↑〕【出典：総合計画、しあわせ推進課】	%	目標値	50.0	42.0	44.0	46.0	48.0	50.0	
		36.5 (R1)	40.4	39.0	42.6	43.6			
「男女共同参画社会づくり宣言」宣言事業所の数〔↑〕【出典：総合計画、協働まちづくり課】	事業所	目標値	50	52	54	56	58	60	
		50 (H30)	53	54	58	58			
市の審議会等の女性委員の割合〔↑〕 【出典：総合計画、協働まちづくり課】	%	目標値	40.0	37.5	38.1	38.7	39.3	40.0	
		36.3 (R1)	36.9	38.3	40.3	39.9			
合計特殊出生率〔↑〕 【出典：総合計画、企画政策課】	—	目標値	1.84	1.86	1.89	1.91	1.93	1.95	
		1.79 (H29)	1.57	1.54	1.42	1.44			
袋井市が子どもを産み育てやすい環境だと感じている人の割合〔↑〕【出典：市民意識調査】	%	目標値	50.0	55.0	60.0	65.0	70.0	70.0	
		45.8 (H30)	45.5	50.5	48.7	44.1			

評価基準	評価	評価基準	
		達成度※1	
	よくできました 	目標値以上	5点
	いい調子です 	目標値未満～70以上	4点
	もうひと踏ん張り 	70未満～基準値	3点
	もっとがんばろう 	基準値未満	1点

※1 達成度は、目標値を100とした場合の達成度合いで評価
※2 総合評価は、業績指標の平均点で評価

総合評価



3.9点

TOPICS

子育てママさんの経験や想いをカタチに！

子育て経験のある市民の有志が集い、子育てハンドブック「はなさき」を作成しました。子どもの誕生から就学期までの子育てに必要な情報を一元的に掲載しているこのハンドブックは、市議会や行政、民間事業者の支援を受け完成に至りました。

「子育てするなら袋井市」の実現に向け、今後も関係機関と協力し取り組んでまいります。



戦略を支える取組

総合戦略では、国の第2期総合戦略を勘案して基本目標を次のとおり定めています。
3つの挑戦と基本目標との対応表は以下のとおりです。

- 基本目標 1 活力みなぎる産業のあるまちづくり
- 基本目標 2 快適で魅力にあふれ、安全・安心に暮らせるまちづくり
- 基本目標 3 子どもがすこやかに育つまちづくり
- 基本目標 4 市民がいいききと活躍し、健康長寿で暮らしを楽しむまちづくり

3つの挑戦	重点戦略	基本目標			
		活力みなぎる産業のあるまちづくり	快適で魅力にあふれ安全・安心に暮らせるまちづくり	子どもがすこやかに育つまちづくり	市民がいいききと活躍し健康長寿で、暮らしを楽しむまちづくり
挑戦 1 「ふくろい人」 ひとづくりへの挑戦	新しい時代を生き抜く人づくり			○	
	社会や産業を支える人づくり	○		○	
	挑戦する人を応援する土壌づくり	○		○	○
挑戦 2 「しっかり稼ぐ」 しごとづくりへの挑戦	新たな産業と地域社会づくり	○	○		
	稼げる農業づくり	○			
	「ふくろい」ならではの暮らしづくり	○	○		
挑戦 3 「支え合い」 誰もが活躍する まちづくりへの挑戦	人生100年時代「全世代が活躍する」まちづくり	○	○	○	○
	支え合う多様な仲間づくり		○	○	○
	多様性を強みとするまちづくり		○	○	○

業績指標の評価

(1) 活力みなぎる産業のあるまちづくり

指標名	単位	基準値 (基準年)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	達成度
製造品出荷額等（従業員4人以上）〔↑〕 【出典：総合計画、産業未来課】	億円	目標値	5,880	5,960	6,040	6,130	6,200	6,200	—
		5,880 (H29)	6,061 (R1)	5,727 (R2)	6,210 (R3)	2月頃公表			
観光交流客数〔↑〕 【出典：総合計画、商業観光課】	千人	目標値	5,075	5,100	5,125	5,150	5,175	5,000	
		4,753 (H30)	2,403	3,320	4,145	4,590			
主要農産物産出額〔↑〕 【出典：総合計画、農政課】	億円	目標値	72.2	71.9	71.6	71.3	71.0	72.0	
		72.8 (H30)	66.0	70.7	70.4	71.6			

(2) 快適で魅力にあふれ安全・安心に暮らせるまちづくり

指標名	単位	基準値 (基準年)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	達成度
地区計画などの実施面積【↑】 【出典：総合計画、都市計画課】	ha	目標値	355	370	370	370	370	370	
		308 (H30)	355	355	355	389			
一人1日あたりの可燃ごみの排出量【↓】 【出典：総合計画、廃棄物対策課】(R2～5) ※算出方法：総排出量(g/年)÷人口÷365	g	目標値	537	530	524	517	—	—	
		543 (H30)	556	523	491	464	—	—	
一人1日あたりの可燃ごみの排出量【↓】 【出典：総合計画、廃棄物対策課】(R6～R7) ※算出方法：可燃ごみ排出量(g/年)÷人口÷365	g	—	—	—	—	—	452	439	
		—	—	—	—	—			
河川改修延長の進捗【↑】 【出典：総合計画、土木防災課】	m	目標値	502	625	765	855	995	1,142	
		258 (H30)	511.6	619.3	851.9	1,218			
人身事故件数【↓】 【出典：総合計画、協働まちづくり課】	件	目標値	560	545	530	515	500	360	
		559 (R1)	446	513	503	515			

(3) 子どもがすこやかに育つまちづくり

指標名	単位	基準値 (基準年)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	達成度
合計特殊出生率【↑】 【出典：総合計画、企画政策課】	—	目標値	1.84	1.86	1.89	1.91	1.93	1.95	
		1.79 (H29)	1.57	1.54	1.42	1.44			
保育所持機児童数【↓】 【出典：総合計画、子ども未来課】	人	目標値	0	0	0	0	0	0	
		58 (H30)	2	0	0	0			
全国規模の学力調査で全国平均を上回る科目の割合(小6：国語・算数、中3：国語・数学) 【↑】 【出典：学校教育課】	%	目標値	50.0	80.0	80.0	100.0	100.0	100.0	
		50.0 (R1)	中止	0	0	25.0			

(4) 市民がいきいきと活躍し健康長寿で暮らしを楽しむまちづくり

指標名	単位	基準値 (基準年)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	達成度
お達者度(男性)【↑】 【出典：総合計画、健康未来課】 ※R5～算出方法変更。今後、指標名変更の可能性あり	年	目標値	17.92	17.98	18.05	18.12	18.19	18.19	—
		17.78 (H28)	18.77 (H30)	19.19 (R1)	19.30 (R2)	9月公表			
お達者度(女性)【↑】 【出典：総合計画、健康未来課】 ※R5～算出方法変更。今後、指標名変更の可能性あり	年	目標値	21.34	21.41	21.49	21.57	21.65	21.65	—
		21.18 (H28)	21.54 (H30)	21.58 (R1)	22.21 (R2)	9月公表			
市国保特定健診で糖尿病が強く疑われる人の割合【↓】 【出典：総合計画、保健予防課】	%	目標値	10.4	10.3	10.2	10.1	10.5	10.4	
		10.5 (H30)	10.5 (R1)	10.3 (R2)	9.8 (R3)	10.6 (R4)			
総合健康センターでの総合相談件数【↑】 【出典：総合計画、健康長寿課】	件	目標値	4,600	4,700	4,800	4,900	6,600	6,700	
		3,423 (H30)	5,317	5,689	6,044	5,741			
自治会加入率【↑】 【出典：総合計画、協働まちづくり課】	%	目標値	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	
		85.3 (R1)	84.5	84.7	85.4	83.9			
協働まちづくりセンターの登録団体数(市民活動団体)【↑】 【出典：総合計画、協働まちづくり課】	団体	目標値	50	50	50	50	50	50	
		53 (H30)	43	44	47	44			
「男女共同参画社会づくり宣言」宣言事業所の数【↑】 【出典：総合計画、協働まちづくり課】	事業所	目標値	50	52	54	56	58	60	
		50 (H30)	53	54	58	58			

平成27年度 「地方版総合戦略の策定&先行的な取組」

第1弾

㉔2月補正⇒㉗全額繰越

総額：116,161千円

- 交付金名 地域住民生活等緊急支援のための交付金〔消費喚起・生活支援型〕
- 事業費 72,653千円（国費10／10）
- 交付要件 自治体の財政力指数や人口等に基づいた算定・配分
- 施策の概要
地域における消費喚起策「元気はつらつクーポン券」（プレミアム付き地域商品券）の発行
発行冊数：33,000冊、発行総額：396,000千円（プレミアム率20％／66,000千円）

- 交付金名 地域住民生活等緊急支援のための交付金〔地方創生先行型／基礎分〕
- 事業費 43,508千円（国費10／10）
- 交付要件 自治体の財政力指数や人口等に基づいた算定・配分
- 施策の概要
・「地方版総合戦略」の策定のほか、まち・ひと・しごと創生に資する先行的な事業
ICT教育の充実強化（電子黒板の導入）、子育て応援アプリの開発、観光情報の多言語化、
全国メロンサミットの開催、クラウンメロンの海外輸出支援、シティプロモーションほか

第2弾

㉗11月補正

総額：20,000千円

- 交付金名 地域住民生活等緊急支援のための交付金〔地方創生先行型／上乗せ交付（タイプⅠ）〕
- 事業費 10,000千円（国費10／10）
- 交付要件 国は自治体の提案を受け、先駆的な取組を審査・選考
- 施策の概要
・「3 Days Worker's Office構想」策定事業
「週3日程度の就労」と「一定程度の所得」を得ることができる仕組みづくり

- 交付金名 地域住民生活等緊急支援のための交付金〔地方創生先行型／上乗せ交付（タイプⅡ）〕
- 事業費 10,000千円（国費10／10）
- 交付要件 地方版「総合戦略」を10月末までに策定した自治体に交付（施策の推進費）
- 施策の概要
・まち・ひと・しごと創生に資する先行的な事業
ICT教育の充実強化（電子黒板導入校の拡大）、タブレットを活用した学習支援の社会実験
袋井商業高等学校の5年制化の推進、アクティブ育児応援プログラム

第3弾

②7 2月補正⇒②8全額繰越

総額：80,000千円

○交付金名 **地方創生加速化交付金**

○事業費 **40,000千円（国費10／10）**

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先駆的な取組を審査・選考

○施策の概要

「3 Days Worker's Office構想」実装化事業

- ・基礎調査（②7実施）により抽出された課題整理と制度の詳細設計、推進協議会の開催
- ・「仕事の切り出し」や「シフトの組み方」など好事例の実践

○交付金名 **地方創生加速化交付金**

○事業費 **40,000千円（国費10／10）**

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先駆的な取組を審査・選考

○施策の概要

「グローバル戦略」加速化事業

- ・T P Pを見据えたクラウンメロンの輸出促進
新興国市場での需要喚起と販路拡大（トップセールス、海外バイヤー招聘ほか）
- ・ラグビーW杯を見据えた訪日外国人観光客のおもてなし環境整備
市民の英語力向上（英検受験助成ほか）、ふくろい版ホームステイ、シティプロモーション

平成28年度 「本格的な地方創生事業の推進」

第4弾

②8 9月補正

総額：50,000千円

○交付金名 **地方創生推進交付金（1年目／H28－30）＜第39回地域再生計画認定＞**

○事業費 **50,000千円（国費1／2）**

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

グローバルイノベーション戦略

- ・交流人口増加に向けた新成長分野の強化
市P R動画作成・首都圏プロモーション、サテライトオフィスの実証実験 など
- ・オープンデータやクラウドファンディングを活用した新事業の創出
オープンデータ活用推進、クラウドファンディング推進 など
- ・人材育成／I T教育や観光教育の充実強化
I C T教育の充実強化（電子黒板導入校の拡大）、ロボットプログラミング教育支援 など

第5弾

②8 2月補正⇒②9全額繰越

総額：16,000千円

○交付金名 **地方創生拠点整備交付金＜第41回地域再生計画認定＞**

○事業費 **16,000千円（国費1／2）**

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

地域の縁側づくり「ENGAWAマーケット@浅西」実施計画

- ・縁側づくり（事務室の増築）と土間（庇）の設置
ENGAWA（事務室）ヒトとコトの交流ゾーン／DOMA（庇）モノの交流ゾーン
- ・備品購入（老朽化した味噌づくり用自動発酵機等の備品更新）

第6弾 ②当初

総額：50,000千円

○交付金名 地方創生推進交付金（2年目／H28－30）＜第39回地域再生計画認定＞

○事業費 50,000千円（国費1／2）

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

グローバルイノベーション戦略

- ・ 交流人口増加に向けた新成長分野の強化
ふくろい版ホームステイ、クラウンメロンのブランド力向上、健康アプリ作成 など
- ・ オープンデータやクラウドファンディングを活用した新事業の創出
オープンデータ活用推進、創業支援 など
- ・ 人材育成／IT教育や観光教育の充実強化
ICT教育の充実強化（電子黒板導入校の拡大）、市民の英語力向上 など

第7弾 ②交付（国委託事業）

総額：20,004千円

○事業名 生涯現役促進地域連携事業（1年目／H29－31）

○事業費 20,004千円（国費10／10）

○交付要件 国は協議会の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

ふくろいTaskAruネットワーク（3 Days Worker's Office構想推進）事業

- ・ 高齢者の担い手づくり（職場見学会、就労体験、職能訓練の実施）
- ・ 新しい働き方・しごとづくり（需給双方による検討）
- ・ 高齢者・企業双方への普及啓発とネットワークづくり

第8弾 ③当初

総額：50,000千円

○交付金名 地方創生推進交付金（3年目／H29－30）＜第39回地域再生計画認定＞

○事業費 50,000千円（国費1／2）

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

グローバルイノベーション戦略

- ・ 特産物やラグビーW杯を契機にした誘客活動や商品造成、IT企業と連携した働き方改革の実践
ふくろい版ホームステイ、ラグビー開催に向けた機運醸成、インバウンド観光推進 など
- ・ オープンデータやクラウドファンディングを活用した新事業の創出
オープンデータ活用推進、創業支援 など
- ・ 人材育成／IT教育や観光教育の充実強化
ICT教育の充実強化（電子黒板導入校の拡大）、市民の英語力向上 など

○交付金名 **地方創生推進交付金（1年目／H30－32）〈第47回地域再生計画認定〉**

○事業費 **132,000千円（国費1／2）**

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

「稼ぐチカラ」向上戦略

- ・地域資源の融合・変化による新たな価値創出と地域内の「稼ぐチカラ」強化
商店街・風鈴まつり×イルミネーション、農産物お土産開発、産業経済懇話会 など
- ・メガイベントを契機とした「まちの魅力」の最大化とコトづくり
ラグビーW杯に向けた誘客、ICTとSNSを活用した魅力発信 など

○交付金名 **地方創生推進交付金（1年目／H30－32）〈第47回地域再生計画認定〉**

○事業費 **67,600千円（国費1／2）**

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

「日本一健康文化都市」実現戦略

- ・ウェルビーイングを実現するまちづくり
出張保健センター、ICTコミュニティ情報発信、INFORMATION2961 など
- ・人生100年時代の暮らしを先取るひとや地域のイノベーション
特色ある地域づくり推進、未来の教室実証研究 など

○事業名 **生涯現役促進地域連携事業（2年目／H29－31）**

○事業費 **20,099千円（国費10／10）**

○交付要件 国は協議会の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

ふくろいTaskAruネットワーク（3 Days Worker's Office構想推進）事業

- ・高齢者の担い手づくり（職場見学会、就労体験、職能訓練の実施）
- ・新しい働き方・しごとづくり（需給双方による検討）
- ・高齢者・企業双方への普及啓発とネットワークづくり

第11弾

③当初

総額：195,000千円

○交付金名 地方創生推進交付金（2年目／H30－32）＜第47回地域再生計画認定＞

○事業費 138,000千円（国費1／2）

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

「稼ぐチカラ」向上戦略

- ・地域資源の融合・変化による新たな価値創出と地域内の「稼ぐチカラ」強化
商店街・風鈴まつり×イルミネーション・ライトアップ、自動運転走行実証 など
- ・メガイベントを契機とした「まちの魅力」の最大化とコトづくり
ラグビーW杯に向けた誘客、ICTとSNSを活用した魅力発信 など

○交付金名 地方創生推進交付金（2年目／H30－32）＜第47回地域再生計画認定＞

○事業費 57,000千円（国費1／2）

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

「日本一健康文化都市」実現戦略

- ・ウェルビーイングを実現するまちづくり
出張保健センター、ICTコミュニティ情報発信、INFORMATION2961 など
- ・人生100年時代の暮らしを先取るひとや地域のイノベーション
特色ある地域づくり推進、未来の教室実証研究 など

第12弾

③交付（国委託事業）

総額：20,108千円

○事業名 生涯現役促進地域連携事業（3年目／H29－31）

○事業費 20,108千円（国費10／10）

○交付要件 国は協議会の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

ふくろいTaskAruネットワーク（3 Days Worker's Office構想推進）事業

- ・高齢者の担い手づくり（職場見学会、就労体験、職能訓練の実施）
- ・新しい働き方・しごとづくり（需給双方による検討）
- ・高齢者・企業双方への普及啓発とネットワークづくり

第13弾 ②当初

総額：151,500千円

○交付金名 地方創生推進交付金（3年目／H30－R2）＜第47回地域再生計画認定＞

○事業費 95,000千円（国費1／2）

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

「稼ぐチカラ」向上戦略

- ・地域資源の融合・変化による新たな価値創出と地域内の「稼ぐチカラ」強化
夜宵プロジェクト、ミズベリング、サイクルロードレース、自動運転走行実証 など
- ・メガイベントを契機とした「まちの魅力」の最大化とコトづくり
ラグビーW杯関連事業、ICT・SNSを活用したシティプロモーション など

○交付金名 地方創生推進交付金（3年目／H30－R2）＜第47回地域再生計画認定＞

○事業費 56,500千円（国費1／2）

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

「日本一健康文化都市」実現戦略

- ・ウェルビーイングを実現するまちづくり
出張保健センター、ICTコミュニティ情報発信、INFORMATION2961 など
- ・人生100年時代の暮らしを先取るひとや地域のイノベーション
特色ある地域づくり推進、未来の教室実証研究 など

第14弾 ②9月補正

総額：30,000千円

○交付金名 地方創生推進交付金（1年目／R2－R4）＜第57回地域再生計画認定＞

○事業費 30,000千円（国費1／2）

○交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考

○施策の概要

「誰もが元気で活躍できるまちづくり」戦略

- ・「全世代が活躍するまちづくり」への挑戦
人生100年時代の地域経営のあり方の調査研究
- ・支え合う多様な仲間づくりへの挑戦
ICTを活用した実証事業

令和3年度 「地方創生の充実・強化」

第15弾 ③当初

総額：116,000千円

- 交付金名 **地方創生推進交付金（2年目／R2－R4）〈第57回地域再生計画認定〉**
- 事業費 **116,000千円（国費1／2）**
- 交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考
- 施策の概要

「誰もが元気で活躍できるまちづくり」戦略

- ・「全世代が活躍するまちづくり」への挑戦
人生100年時代の地域経営のあり方の調査研究、フッピー健康ポイント など
- ・支え合う多様な仲間づくりへの挑戦
ICTを活用した地域課題解決、地域コミュニティ情報発信 など
- ・多様性を強みとするまちづくりへの挑戦
まちの国際化、小中学校英語力向上、青少年指導者養成 など

令和4年度 「デジタル田園都市国家構想を見据えた総括」

第16弾 ④当初

総額：116,000千円

- 交付金名 **地方創生推進交付金（3年目／R2－R4）〈第57回地域再生計画認定〉**
- 事業費 **116,000千円（国費1／2）**
- 交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考
- 施策の概要

「誰もが元気で活躍できるまちづくり」戦略

- ・「全世代が活躍するまちづくり」への挑戦
人生100年時代の地域経営のあり方の調査研究、フッピー健康ポイント など
- ・支え合う多様な仲間づくりへの挑戦
ICTを活用した地域課題解決、地域コミュニティ情報発信 など
- ・多様性を強みとするまちづくりへの挑戦
まちの国際化、小中学校英語力向上、青少年指導者養成 など

令和5年度 「官民共創の仕組みづくり検討に向けた仮説の設定～マインドセットと課題認識の目揃え～」

第17弾 ⑤9月補正

総額：10,000千円

- 交付金名 **デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）（1年目／R5－R7）〈第68回地域再生計画認定〉**
- 事業費 **10,000千円（国費1／2）**
- 交付要件 国は自治体の提案を受け、先導的な取組を審査・選考
- 施策の概要

「“ふくろい版”共創のまちづくり推進事業」 ～地域DXを見据えた新たな自治体経営への挑戦～

- ・官民共創の定常化、一般化、自律化に向けた仕組みづくりへの挑戦
人口動態や地域経済など現状や課題の把握と共有する事業
- ・官民共創のまちづくり推進のための人づくりへの挑戦
スタートアップ企業らとのネットワーク構築

輝く“ふくろい”まち・ひと・しごと・創生会議

地方創生の実現に向けた取組の加速・深化を目的として、各々の専門分野から幅広く意見をいただくとともに、政策立案に向けた議論を行うため、市内（県内）及び首都圏で幅広く活躍されている産学官の代表者らにより構成する「ふくろい部会」・「首都圏部会」、市内金融機関等の支店長により構成する「金融機関支店長会議」を次のとおりそれぞれ設置し、会議を開催している。



ふくろい部会



首都圏部会



金融機関支店長会議

（１）地方創生会議委員名簿（R6.7末現在／順不同・敬称略）

【ふくろい部会】

所 属	役 職	氏 名	所 属	役 職	氏 名
㈱杏林堂グループ・ホールディングス	取締役副会長	青 田 英 行	農林環境専門職大学	学長	鈴 木 滋 彦
ReaLabo（料理講師、ITサポート）	代表	足 立 美 和	袋井商工会議所	会頭	豊 田 浩 子
山名学園山名幼稚園	理事長	諸 井 理 恵	静岡理工科大学	学長	木 村 雅 和
安間製茶	代表	安 間 孝 介	アスリートクラブ	—	岡田千詠子
袋井市観光協会	理事	大 場 和 明	静岡大学情報学部	教授	遊 橋 裕 泰
日本貿易振興機構浜松貿易情報センター	所長	永 盛 明 洋			

【首都圏部会】

所 属	役 職	氏 名	所 属	役 職	氏 名
㈱朝日新聞社	監査役	足 立 直 樹	イービストレード㈱	代表取締役社長	寺 井 良 治
㈱大和総研	主席研究員	内 野 逸 勢	㈱大和コンピューター	代表取締役社長	中 村 憲 司
㈱三菱総合研究所	主席研究員	北 井 渉	㈱JSOL	代表取締役兼専務執行役員	名 倉 明 彦
国際文化アカデミーJTBツーリズムビジネスカレッジ	執行役員	鈴 木 良 照	楽天損害保険㈱	常務執行役員	幡 鎌 大 介
㈱ポーラ・オルビス・ホールディングス	執行役員/グループ研究・知財薬事センター担当兼株式会社ポーラメディカル代表取締役社長	末 延 則 子	㈱コクーン	取締役兼プロデューサー	松 本 朋 丈
㈱ココカラファイングループ	代表取締役社長	塚 本 厚 志			

【金融機関支店長会議】

静岡銀行	スルガ銀行	清水銀行	静岡県労働金庫	浜松磐田信用金庫
島田掛川信用金庫	遠州中央農業協同組合	日本政策金融公庫		

(2) 地方創生会議開催状況

【ふくろい部会（委員：6人【～H30】、10人【R元～】）】

No.	開催日	場 所	内 容
1	H27.5.19（火）	袋井市役所	袋井版「総合戦略」の方向性について
2	H27.7.21（火）	袋井市役所	袋井版「総合戦略」について①人口ビジョン（素案）②政策パッケージ（骨子案）
3	H28.6.29（月）	袋井市役所	地方創生事業評価、政策立案に向けた意見交換、企業版ふるさと納税
4	H29.6.28（水）	袋井市役所	地方創生事業評価、政策立案に向けた意見交換
5	H30.6.27（水）	袋井市役所	地方創生事業評価、政策立案に向けた意見交換
6	R元.7.8（月）	袋井市役所	地方創生事業評価、第1期総合戦略の総括、第2期総合戦略策定に向けた意見交換
7	R2.2.13（木）	袋井市役所	第2期総合戦略素案について、意見交換
8	R2.7.6（月）	袋井新産業会館	地方創生事業評価、アフターコロナの経済社会に向けた成長戦略について意見交換
9	R3.11.8（月）	袋井新産業会館	地方創生事業評価、アフターコロナの社会について意見交換
10	R4.7.21（木）	袋井市教育会館	地方創生事業評価、アフターコロナの社会について意見交換
11	R5.7.31（月）	袋井市教育会館	地方創生事業評価、人口減少社会における今後のまちづくりについて意見交換

【首都圏部会（委員：10人）】

No.	開催日	場 所	内 容
1	H27.5.12（火）	都市センターホテル	袋井版「総合戦略」の方向性について
2	H27.7.31（金）	都市センターホテル	袋井版「総合戦略」について①人口ビジョン（素案）②政策パッケージ（骨子案）
3	H28.7.3（月）	都市センターホテル	地方創生事業評価、政策立案に向けた意見交換、企業版ふるさと納税
4	H29.7.3（月）	都市センターホテル	地方創生事業評価、政策立案に向けた意見交換
5	H30.7.3（火）	都市センターホテル	地方創生事業評価、政策立案に向けた意見交換
6	R元.7.1（月）	都市センターホテル	地方創生事業評価、第1期総合戦略の総括、第2期総合戦略策定に向けた意見交換
7	R2.2.12（水）	NIPPON GALLERY	第2期総合戦略素案について、意見交換
令和2・3年度は新型コロナ感染拡大の影響により個別に意見聴取			
8	R4.12.21（水）	東京グリーンパレス	地方創生事業評価、意見交換
9	R5.12.20（水）	全国町村会館	地方創生事業評価、意見交換

【金融機関支店長会議（委員：8人）】

No.	開催日	場 所	内 容
1	H27.5.26（火）	袋井市役所	袋井版「総合戦略」策定方針について
2	H27.7.29（水）	袋井市役所	袋井版「総合戦略」について①人口ビジョン（素案）②政策パッケージ（骨子案）
3	H27.10.20（金）	袋井市役所	袋井版「総合戦略」について①人口ビジョン②総合戦略／政策パッケージ
4	H28.3.2（水）	袋井市役所	地域内の就労に関する需要供給調査について（調査依頼）
5	H28.7.22（金）	袋井市役所	地域内の就労に関する需要供給調査について
6	H29.2.15（水）	袋井市役所	平成29年度当初予算の概要について、3 Days Worker's Office構想について
7	H29.11.1（水）	袋井市役所	平成28年度地方創生取組結果の概要政策立案に向けた意見交換
8	H30.8.23（木）	袋井市総合センター	平成29年度地方創生取組結果及び平成30年度取組の概要政策立案に向けた意見交換
9	R元.7.17（水）	袋井市役所	地方創生事業評価、第1期総合戦略の総括、第2期総合戦略策定に向けた意見交換
10	R2.3.2（月）	袋井市総合センター	第2期総合戦略素案について、意見交換
11	R2.7.15（火）	袋井市役所	地方創生事業評価、アフターコロナの経済社会に向けた成長戦略について意見交換、地方創生の推進に係る連携協定について
12	R3.12.10（金）	袋井市役所	地方創生事業評価、地域の現状と国の新たな経済対策を踏まえた今後の展開方策について意見交換
13	R4.8.24（水）	袋井市役所	地方創生事業評価、ふるさと納税制度の仕組みを活用した、「稼ぐち方う」のある市内事業者の育成に向けた
14	R5.9.14（木）	袋井市役所	地方創生事業評価、アフターコロナにおける地域経済の動向について、外国人労働者を含めた人材確保の対策として市内事業者が取り組んでいる実態について

地方創生の実現に向けた「政策勉強会」

地方創生の実現に向け、時代をリードする新技術や価値観などに携わる有識者を招聘し、知識を深めるとともに、政策立案につなげていくことを目的として、市長をはじめ、庁内幹部職員及び市議会、商工会議所等関係団体を対象とした「政策勉強会」を開催している。

No.	開催日	場 所	内 容
1	H27.12.19（土）	エコパ スタジアム	ラグビーワールドカップの魅力について 【講師】ラグビーワールドカップ2019組織委員会 事業部長 伊 達 亮 氏 メガスポーツイベントを契機とした新たなまちづくり 【講師】E Y総合研究所(株) 未来社会・産業研究部長 小 川 高 志 氏
2	H28. 1. 21（木）	袋井市役所	労働市場の今後と政策課題 ～高齢者就労の実態～ 【講師】(株)リクルートワークス研究所 主任研究員 戸 田 淳 仁 氏
3	H28. 2. 18（木）	袋井市役所	ホームステイ × まちの国際化～我が家は、ときどきインターナショナル～ 【講師】Homestay in Japan／(株)ネクステージ 代表取締役 竹 島 千 歳 氏
4	H28.11. 9（水）	袋井市役所	I C Tまちづくりの近況と今後の展望について 【講師】東京大学大学院情報学環 教授 須 藤 修 氏
5	H29. 9. 1（金）	袋井市役所	シェアリングエコノミーをめぐる近況と今後の展望について 【講師】（一社）シェアリングエコノミー協会 内閣官房シェアリングエコノミー伝道師 積 田 有 平 氏
6	H30.12.25（火）	袋井市役所	変化の激しい時代を生きる子ども達のこれからの教育とは 【講師】小金井市立前原小学校校長 松田孝氏、 Google Japan Google for Education マーケティング統括部長 スチュアート・ミラー 氏
7	H31.3.15（金）	袋井市役所	地域所得力調査の結果から見る袋井の現状と課題 【講師】（一財）静岡経済研究所調査研究部長 山 田 慎 也 氏
8	R元. 6. 25（火）	袋井市役所	塩尻市に見る産学官民による地域 I C Tの推進 【講師】総務省地域情報化アドバイザー 金 子 春 雄 氏
9	R元.12.17（火）	袋井市役所	データから見る袋井市の地域経済の実態について 【講師】(株)価値総合研究所 主席研究員 山 崎 清 氏
10	R 3.11. 9（火）	袋井市役所	データから見る袋井市の地域経済の実態について 【講師】(株)価値総合研究所 主席研究員 山 崎 清 氏
11	R4.12.14（水）	袋井新産業会館	若年層の就業観と“働きがい”を測るワーク・エンゲージメントの実態 【講師】(株)静岡総合研究所 主席研究員 岩間 晴美 氏
12	R5.11.22（水）	袋井市教育会館	デジタル社会の光と影について 【講師】個人情報保護委員会事務局（国際担当）参事官補佐 山本明央 氏 N T Tコミュニケーションズ（株）主査 鈴木一生 氏

金融機関との連携強化／地方創生の推進に係る連携協定

地方創生の実現に向け、各々の強みを活かした特色ある連携や取組を展開するため、次のとおり個別に「取組テーマ」を設定し、連携協定を締結した。

(1) 連携協定の状況

No.	金融機関名	調印日	取組テーマ
1	磐田信用金庫	H27.9.7	「農業」と「食」に関すること (例) 新規就農者等の創業支援
2	静岡銀行	H28.1.19	「健康」をキーワードにした施策連携 (例) 産業×健康づくりほか
3	浜松信用金庫	H28.1.21	アウトバウンド戦略とインバウンド戦略 (例) 農産物の海外輸出と観光PR
4	掛川信用金庫	H28.2.15	潜在的な労働力の発掘 (例) 女性の活躍などの創業支援
5	遠州中央農業協同組合	H28.2.18	競争力のある商品づくり (例) ふるさと納税返礼品の充実
6	スルガ銀行	H28.3.14	まちの賑わいづくり (例) 空き店舗の利活用
7	静岡県労働金庫	H28.3.17	若者〔勤労者〕の定住促進 (例) 住まい方など将来設計への助言
8	清水銀行	H28.3.25	地域を担う人材育成の推進 (例) 実践的な金融経済教育の普及

(2) 金融機関との連携による取組事例

■ 共通事項 (全ての金融機関が参画)	■ 個別事項
・ 地域内就労需要供給実態調査	・ 磐田信用金庫 特産品PRイベント仲介 (山口県宇部市)
・ 金融機関支店長会議	・ 静岡銀行 地方創生特設PRブース設置 (袋井支店)
	・ 浜松信用金庫 クラウンメロンのタイ輸出支援 クラウドファンディング推進
	・ 遠州中央農業協同組合 農協祭での健康づくりPR
	・ スルガ銀行 法多山門前再興プロジェクト
	・ 静岡県労働金庫 ろうきん遠友会住宅フェスティバルでの定住PR

民間企業等との連携強化／地方創生の推進に係る連携協定

No.	企業等名	調印日	取組テーマ
1	凸版印刷(株)	R3.1.29	ICTの推進、市民サービスの向上、地域の産業振興・中小企業の支援、地域づくり・地域活性化 など
2	袋井商業高校、袋井高校、特別支援学校	R3.12.23	社会教育及び学校教育の充実や人材育成、まちづくりへの参画、地域産業の振興及び新産業の創出、地域づくり・地域活性化 など
3	あいおいニッセイ同和損害保険(株)浜松支店	R5.1.27	地域・暮らしの安全・安心、防災・災害対策、健康増進・介護支援、産業振興・中小企業支援、文化・スポーツ振興 など

外部人材の登用

No.	分野	氏名	役職	派遣元	任期
1	ICT	山本 明 央	理事	総務省	H31.4～R3.7
2	デジタル	鈴木 一 生	専門官	(株)NTTドコモ	R2.4～R4.3
3	ICT教育	柏 萌 菜 美	専門官	凸版印刷(株)	R3.4～R4.3
4	ICT教育	一ノ宮美香	専門官	凸版印刷(株)	R3.4～R5.3
5	シティプロモーション 兼社会連携	神 谷 高 宏	専門官	(株)JTB	R4.4～R6.3
6	ICT	小 俣 一 樹	専門官	(株)NTTドコモ	R4.4～R6.3
7	ICT	鳴 瀬 邦 彦	専門官	コニカミノルタパブリテック(株)	R4.4～R6.3

外部人材の登用

No.	分 野	氏 名	役 職	派遣元	任 期
8	ICT	平 山 高 士	専門官	(株)日立システムズ	R4.4～
9	ICT兼産業	家 中 耕 一	専門官	(株)フォーバル	R5.4～
10	ICT	樽 見 寧	戦略官	富士通Japan(株)	R6.4～
11	シティプロモーション 兼社会連携	森 敬 広	専門官	(株)JTB	R6.4～
12	ICT	澤 田 誠 二	専門官	コニカミノルタパブリテック(株)	R6.4～

